

平成30年度  
北秋田市教育委員会  
点検・評価報告書

令和元年10月  
北秋田市教育委員会

# 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

点検及び評価の対象年度　：　平成30年度

## <構成内容>

### 1　点検・評価の趣旨等　・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1

- (1) 点検・評価の趣旨
- (2) 点検・評価の対象
- (3) 点検・評価の方法
- (4) 学識経験者の知見の活用
- (5) 報告書の作成経緯
- (6) 北秋田市教育委員会教育長・委員名簿

### 2　教育委員会の会議開催状況　・・・・・・・・ P 3

### 3　教育委員会の会議審議状況　・・・・・・・・ P 3

○平成30年度　教育委員会審議案件一覧

- (1) 平成30年度　附議案件
- (2) 平成30年度　報告案件
- (3) 平成30年度　その他案件

### 4　総合教育会議開催状況　・・・・・・・・ P 7

○平成30年度　総合教育会議審議案件一覧

- (1) 平成30年度　審議案件

### 5　教育事務の点検評価書【総合点検・評価】　・・・・ P 7

### 6　主要事務事業点検・評価票　・・・・・・・・ P 9

- 【点検・評価対象事務事業一覧】
- 【個別点検・評価票】

## 1 点検・評価の趣旨等

### (1) 点検・評価の趣旨

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくために、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条に基づき、平成30年度の教育委員会事務の点検及び評価を行い、これを議会に提出するとともに、公表するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### (2) 点検・評価の対象

本報告書の点検・評価は、平成30年度の事務・取組を対象として実施しています。また、学校教育や社会教育に関することなど、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条で教育委員会の職務権限とされ、本市教育委員会が所管するすべての事務のうち、第2次北秋田市総合計画実施計画（H30～H32）に登載された事務事業を主な対象としています。

### (3) 点検・評価の方法

第2次北秋田市総合計画実施計画（H30～H32）に登載された事務事業を主として、①学校教育の充実、②生涯学習の充実、③芸術・文化の継承と振興、④スポーツの振興の4施策、57事務事業について、年度当初に設定した評価指標に基づき、次の4項目について内部評価を実施しました。

【有効性】 1＝期待以下（90%以下）、2＝期待どおり（90%超）、3＝期待以上（100%超）

【費用対効果】 1＝課題有り（90%以下）、2＝予定どおり（90%超）、3＝予想以上（100%超）

【必要性】 1＝低い、2＝高い、3＝不可欠

【方向性】 1＝廃止・休止（終了）、2＝縮小、3＝統合、4＝継続、5＝拡大

(4) 学識経験者の知見の活用

点検・評価にあたっては、客観性を確保するため、学識経験者2名を評価委員に委嘱し、個別に意見をいただきました。

北秋田市教育委員会点検評価委員 秋田大学北秋田分校長 濱田 純 氏  
北秋田市教育委員会点検評価委員 元秋田県立米内沢高等学校長 佐々木 潤子 氏

(5) 報告書の作成経緯

報告書の作成は次のように行いました。

- 6月27日 教育委員会6月定例会で、平成30年度点検・評価報告書(案)説明
- 7月25日 教育委員会7月定例会で、北秋田市教育委員会点検評価委員選任  
教育委員会7月定例会で、平成30年度点検・評価報告書(案)審議
- 9月18日 点検評価会議を開催し、点検評価委員から意見聴取
- 9月26日 教育委員会9月定例会で、点検評価委員からの意見について報告
- 10月31日 教育委員会10月定例会で、平成30年度点検・評価について議決 → 公表

(6) 北秋田市教育委員会教育長・委員名簿

(平成31年3月31日現在)

職 名	氏 名	委員任期
教 育 長	佐 藤 昭 洋	平成29年5月1日 ～令和2年4月30日
委 員 (教育長職務代理者)	永 井 高 道	平成27年5月14日 ～令和元年5月13日
委 員	佐 藤 正 俊	平成28年5月14日 ～令和2年5月13日
委 員	藤 本 基 子	平成30年5月14日 ～令和4年5月13日
委 員	蒔 苗 隆	平成30年10月10日 ～令和3年5月13日

## 2 教育委員会の会議開催状況

教育委員会議については、原則として毎月1回の「教育委員会定例会」と、状況に応じた「教育委員会臨時会」を開催しています。平成30年度は、合計で15回開催しました。

- (1) 教育委員会定例会・・・12回
- (2) 教育委員会臨時会・・・3回

No	開催日	案件数				所用時間	出席 委員数	備考
		議決	承認	報告	その他			
1	H30. 4. 18	1				46分	4	臨時会
2	H30. 4. 26	4			4	73分	4	
3	H30. 5. 14	1	1			15分	3	臨時会
4	H30. 5. 31	3	1	1	4	95分	3	
5	H30. 6. 28	4	1		2	128分	3	
6	H30. 7. 26	2		1	2	96分	4	
7	H30. 8. 30	2	1		2	118分	4	
8	H30. 9. 26	1			2	101分	3	
9	H30. 10. 25	1			2	117分	4	
10	H30. 11. 29	4		1	2	97分	4	
11	H30. 12. 20	1			2	70分	4	
12	H31. 1. 31	5			3	118分	4	
13	H31. 2. 21	5			2	176分	4	
14	H31. 2. 27	1				110分	4	臨時会
15	H31. 3. 28	24	1	1	2	190分	4	
	計	59	5	4	29	1550分	56	

※H29. 5. 1より新教育委員会制度に移行したため、同日以降出席委員数に教育長は含みません。

## 3 教育委員会の会議審議状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第25条及び北秋田市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（平成17年教育委員会規則第6号）第2条の規定に基づき平成30年度は合計で59件について審議しました。

<平成30年度 教育委員会審議案件一覧>

- (1) 平成30年度 附議案件

議案番号	件名	提出年月日
H30年20	教職員の処分の内申について	H30. 4. 18
21	北秋田市社会教育委員の委嘱について	H30. 4. 26
22	北秋田市公民館非常勤主事の任命について	H30. 4. 26
23	北秋田市文化財の指定解除について	H30. 4. 26
24	北秋田市スポーツ推進計画について	H30. 4. 26
25	財産の取得について（スキー場ゲレンデ整備用圧雪車）の北秋田市議会提出について	H30. 5. 14
26	北秋田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の北秋田市議会提出について	H30. 5. 31

議案番号	件名	提出年月日
27	北秋田市小・中学校児童生徒各種大会出場費補助金交付要綱の一部を改正する訓令の制定について	H30. 5. 31
28	平成30年度一般会計6月補正予算について	H30. 5. 31
29	北秋田市浜辺の歌音楽館の管理及び運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について	H30. 6. 28
30	北秋田市伊勢堂岱縄文館管理規則の一部を改正する規則の制定について	H30. 6. 28
31	北秋田市教育委員会事務点検及び評価実施要綱の一部を改正する訓令の制定について	H30. 6. 28
32	北秋田市スポーツ大会出場費補助金交付要綱の一部を改正する訓令の制定について	H30. 6. 28
33	北秋田市教育委員会事務の点検・評価報告について	H30. 6. 28 H30. 7. 26
34	北秋田市教育委員会点検評価委員の委嘱について	H30. 7. 26
35	平成30年度一般会計9月補正予算について	H30. 8. 30
36	教職員の事故に対する服務監督者としての指導について	H30. 8. 30
37	北秋田市放課後児童クラブ管理規則の一部を改正する規則の制定について	H30. 9. 26
38	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について	H30. 10. 25
39	北秋田市奨学資金貸付条例の一部を改正する条例の北秋田市議会提出について	H30. 11. 29
40	平成30年度一般会計12月補正予算について	H30. 11. 29
41	平成30年度全国学力・学習状況調査の結果分析の公表について	H30. 11. 29
42	学校事故に対する服務監督者としての指導について	H30. 11. 29
43	平成30年度北秋田市一般会計予算12月補正予算（追加提案）について	H30. 12. 20
H31年1	北秋田市立小中学校条例の一部を改正する条例の北秋田市議会提出について	H31. 1. 31
2	職員事故に対する服務監督者としての指導について	H31. 1. 31
3	職員事故に対する服務監督者としての指導について	H31. 1. 31
4	職員事故に対する服務監督者としての指導について	H31. 1. 31
5	職員事故に対する服務監督者としての指導について	H31. 1. 31
6	消費税及び地方消費税の税率引上げに伴う関係条例の整理に関する条例の北秋田市議会提出について	H31. 2. 21
7	北秋田市浜辺の歌音楽館条例の一部を改正する条例の北秋田市議会提出について	H31. 2. 21
8	北秋田市伊勢堂岱縄文館条例の一部を改正する条例の北秋田市議会提出について	H31. 2. 21
9	平成31年度北秋田市一般会計当初予算について	H31. 2. 21
10	平成30年度北秋田市一般会計予算3月補正予算について	H31. 2. 21
11	県費負担教職員の内申について	H31. 2. 27
12	北秋田市立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について	H31. 3. 28
13	北秋田市文化会館管理規則の一部を改正する規則の制定について	H31. 3. 28
14	北秋田市交流センター管理規則の一部を改正する規則の制定について	H31. 3. 28
15	北秋田市浜辺の歌音楽館の管理及び運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について	H31. 3. 28
16	北秋田市伊勢堂岱縄文館管理規則の一部を改正する規則の制定について	H31. 3. 28

議案番号	件名	提出年月日
17	北秋田市地域学校協働活動推進員設置要綱の制定について	H31. 3. 28
18	秋田県立大館鳳鳴高等学校定時制課程教育振興会補助金交付要領の制定について	H31. 3. 28
19	北秋田市体育協会補助金交付要領の制定について	H31. 3. 28
20	北秋田市スポーツ少年団補助金交付要領の制定について	H31. 3. 28
21	チャレンジデー補助金交付要領の制定について	H31. 3. 28
22	100キロマラソン補助金交付要領の制定について	H31. 3. 28
23	北秋田市スキー大会補助金交付要領の制定について	H31. 3. 28
24	県民歩くスキーのつどい補助金の交付要領の制定について	H31. 3. 28
25	北秋田市公民館非常勤館長の任命について	H31. 3. 28
26	北秋田市社会教育委員の委嘱について	H31. 3. 28
27	北秋田市公民館運営審議会委員の委嘱について	H31. 3. 28
28	北秋田市青少年問題協議会委員の委嘱について	H31. 3. 28
29	北秋田市生涯学習奨励員の委嘱について	H31. 3. 28
30	北秋田市文化財保護審議会委員の委嘱について	H31. 3. 28
31	北秋田市図書館協議会委員の任命について	H31. 3. 28
32	北秋田市文化会館運営委員会委員の委嘱について	H31. 3. 28
33	北秋田市浜辺の歌音楽館運営審議会委員の委嘱について	H31. 3. 28
34	スポーツ推進審議会委員の任命について	H31. 3. 28
35	スポーツ推進員の委嘱について	H31. 3. 28

※議案番号は、暦年による一連番号を記載。

(2) 平成30年度 承認案件

番号	件名	提出年月日
1	北秋田市一般会計補正予算（第11号）について	H30. 5. 14
2	北秋田市公民館非常勤館長の任命について	H30. 5. 31
3	北秋田市公民館非常勤主事の任命について	H30. 6. 28
4	教育委員会事務局職員の任免について	H30. 8. 30
5	専決処分の承認を求めることについて（北秋田市教育委員会事務局職員の任免について）	H31. 3. 28

(3) 平成30年度 報告案件

番号	件名	提出年月日
1	行政情報公開請求について	H30. 5. 31
2	教育委員会事務局職員の任免について	H30. 7. 26
3	公文書の開示について	H30. 11. 29
4	公文書の開示について	H31. 3. 28

## (4) 平成30年度 その他案件

番号	件名	提出年月日
1	教育長報告	H30. 4. 26
2	各課長所管報告	H30. 4. 26
3	平成30年度教育委員会機構図について	H30. 4. 26
4	平成30年度北秋田市小・中学校主要行事予定について	H30. 4. 26
5	教育長報告	H30. 5. 31
6	各課長所管報告	H30. 5. 31
7	受動喫煙の防止について	H30. 5. 31
8	教科書用図書採択について	H30. 5. 31
9	教育長報告	H30. 6. 28
10	各課長所管報告	H30. 6. 28
11	教育長報告	H30. 7. 26
12	各課長所管報告	H30. 7. 26
13	教育長報告	H30. 8. 30
14	各課長所管報告	H30. 8. 30
15	教育長報告	H30. 9. 26
16	各課長所管報告	H30. 9. 26
17	教育長報告	H30. 10. 25
18	各課長所管報告	H30. 10. 25
19	教育長報告	H30. 11. 29
20	各課長所管報告	H30. 11. 29
21	教育長報告	H30. 12. 20
22	各課長所管報告	H30. 12. 20
23	教育長報告	H31. 1. 31
24	各課長所管報告	H31. 1. 31
25	小・中学校の卒業式並びに入学式について	H31. 1. 31
26	教育長報告	H31. 2. 21
27	各課長所管報告	H31. 2. 21
28	教育長報告	H31. 3. 28
29	各課長所管報告	H31. 3. 28

#### 4 総合教育会議開催状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成26年法律第76号）の施行により、平成27年度から「総合教育会議」を設置しています。

総合教育会議では、市長と教育委員会が協議を行い、教育に関する総合的な施策の大綱を策定する他、教育の条件整備など重点的に構すべき施策、児童・生徒等の生命・身体の保護等緊急の場合に構すべき措置等について協議・調整を行います。平成30年度は2回開催しました。

<平成30年度 総合教育会議審議案件一覧>

##### (1) 平成30年度 審議案件

番号	件名	年月日
1	北秋田市教育大綱（スポーツ振興編）について	H30. 5. 31
2	平成30年度主な教育施策について	H30. 5. 31
3	平成30年度主要教育施策の実施状況（上半期）及び平成31年度における教育に関する重点施策について	H30. 11. 29

#### 5 教育事務の点検評価書【総合点検・評価】

平成30年度における教育委員会の当初予算は20億4,818万3千円でありましたが、3,876万円の増額補正、7,943万4千円の継続費及び繰越事業費繰越額があり、予算合計が21億6,637万7千円となっています。これは、前年度予算と比較して6,471万8千円増加、一般会計に占める教育費の割合は約11.5%で、前年度に比べ約3.9%増加しています。

平成30年度における教育委員会の主要施策についての個別点検・評価については、次頁以降に示している57事業において実施しました。各事業の採点による点検・評価結果の概要は次のとおりです。

「有効性」については、「北秋田市民ふれあいプラザ管理事業」「文化会館改修事業」「文化祭開催事業」「北秋田市スポーツ大会出場費補助事業」の4事業において「期待以上」の成果が得られたと評価しました。北秋田市民ふれあいプラザは、利用者のニーズに合わせた適切な管理運営を行ったことが来館者の増加に繋がったほか、初めて文化祭の展示会場としたところ、展示者や来館者から好評を得ました。一方、「陶芸ハウス管理事業」「あいターミナル管理事業」の2事業を「期待以下」と評価しました。

「費用対効果」については、「公民館講座開設事業」「北秋田市民ふれあいプラザ管理事業」「縄文まつり開催事業」「浜辺の歌音楽館運営事業」「北秋田市民プール管理運営事業」の5事業において「予想以上」の成果が得られたと評価しました。公民館講座は公民館長会議開催により公民館間のネットワーク強化を図ったこと、社会教育主事配置により講座を地域づくりと生涯学習の核とする取り組みを一層強化できたこと等により、受講者の増加につながりました。伊勢堂岱縄文館で開催された縄文まつりへは、縄文シティサミットに参加した6県8市外全国各地の約300名を御案内することで、広く情報発信に繋がりました。一方、「陶芸ハウス管理事業」「あいターミナル管理事業」の2事業を「課題有り」と評価しました。

「必要性」については、15事業を「高い」、42事業を「不可欠」と評価し、「低い」と評価した事業はありませんでした。

「方向性」については、「総合学習補助事業」「スクールバス運行事業」「北秋田市民ふれあいプラザ管理事業」「伊勢堂岱遺跡世界遺産登録推進事業」「縄文まつり開催事業」「図書館事業」「胡桃館遺跡埋蔵資料等管理事業」の7事業を「拡大すべき」と評価しました。「スクールバス運行事業」については、学校統合を控えていることもあり、運行計画の見直しと必要台数の確保を図ります。「伊勢堂岱遺跡世界遺産登録推進事業」については、最短で2021年の世界遺産登録を目指し、情報発信等の更なる強化を図ります。「図書館事業」については、2019年度～2023年度までの第2期北秋田市子ども読書活動推進計画により、関係機関と連携を図りながら子どもの読書推進に努めるとともに、市民がより利用し易い図書館をめざします。一方、「交流センター改修事業」を「縮小すべき」、また、「公民館管理事業」を「統合」、47事業を「継続」と評価しました。「小・中学校楽器整備事業」は、今後の学校統合を勘案しながら整備計画を立てることとして、一時休止としました。

平30年度の点検・評価対象事業は、栄公民館の建設工事があったものの、施設の維持管理等例年実施している事業が中心となりました。令和元年度は北秋田市小中学校適正規模・配置再編プランに基づく鷹巣中学校と鷹巣南中学校の統合による鷹巣中学校校舎大規模改造工事、令和2年度以降は鷹巣中央小学校と鷹巣南小学校の統合による鷹巣南中学校校舎大規模改造工事、合川公民館建替工事等大型事業が控えていることから、「必要不可欠」な事業を限られた予算で効率よく実施し、かつ、高い成果を上げることがより一層求められます。そのため、例年実施している事業についても常に内容を精査しながら取り組んでいくことが引き続き大きな課題となります。

6回目の参加となった「チャレンジデー2018」は、市民ら20,652が参加しました。参加者は587人増加、参加率は3.0%増加して63.0%となり、4年連続の金メダルを獲得しました。神奈川県寒川町との対戦は、当市の参加率63.0%に対し、寒川町71.7%と、8.7%の大差で敗れてしまいました。しかし、目標としていた参加率60.0%以上を2年連続で達成し、参加者、参加率ともにこれまでで最多となりました。自治会や各種団体、企業等へ広く声掛けを行ったほか、大型ショッピングセンターでの買い物ウォークの実施、そして何よりも「チャレンジデー」の取り組みが市民の方々へ浸透してきたことが、4年連続で参加率50%以上の金メダルにつながった大きな要因と考えられます。次年度以降も参加率を競うことだけではなく、このチャレンジデーを機会に運動習慣を身に付け、『健康生活』の維持に心がけていただき、スポーツを通じて北秋田市がより明るく元気になるよう取り組みを継続していきます。

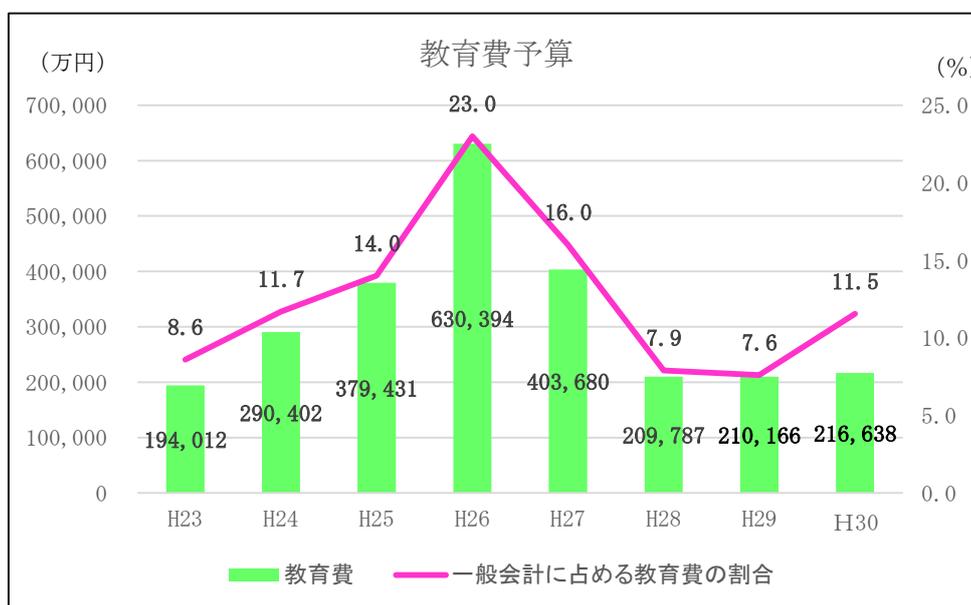
会議については、教育委員会を15回、「総合教育会議」を2回開催しました。市長と教育委員が一堂に会し、北秋田市における「学校教育」「社会教育」「スポーツ」という教育全般にわたり、教育理念や方針、施策や事業等について有意義な協議、意見交換が行われました。

点検評価を終え、学識経験者からは次のような御意見をいただきました。  
「予算に限りがある中で、すべての事業に渡って児童、生徒、市民がよりよく生きていけるように必要な事業に効率よく取り組まれていることに敬意を表します。今後の展望を視野に入れて事業を計画していると思いますが、ぜひ5年、10年といった展望も視野に入れ、今何をすべきかという優先順位を意識しながら、日々の業務に取り組んでいただきたいと思います。」  
「57すべての事業に渡って、予算規模から見ても大変効率性のいい事業を実施していると思います。ただ、点検・評価にあたっては、少し遠慮したり謙虚であったりする事業が見られるので、成果をあげているということを積極的に打ち出してもいいと思います。そのためには、稼働数や利用者数だけではなく、例えば季節ごとあるいは各年代層ごとにデータをとりクロス分析を活用するなど、事業目的に対してきっちり実績をあげている、という見せ方が大事だと思います。加えてこのような分析により今後の事業の新たな展開も見えてくるはずですし、分析評価を活用した説明により、市民の方々の事業へのモチベーションがさらに上がると思います。今後も更なる奮闘に期待しております。」  
いただいた御意見を踏まえ、より効果的な教育行政の推進に努めて参ります。

令和元年10月

北秋田市教育委員会

【参考】



## 6 主要事務事業点検・評価票

【点検・評価対象事務事業一覧】

施策名	施策の方向性
学校教育の充実	①学校の適正配置 ②基礎学力の定着と学力向上 ③体験を重視したキャリア教育・ふるさと教育の充実

No	事務事業名	【総務課】
1	あきたリフレッシュ学園事業	
2	小・中学校施設維持補修事業	
3	学校給食センター運営事業	

No	事務事業名	【学校教育課】
4	外国青年招致事業	
5	総合学習補助事業	
6	教育センター事業	
7	遠距離通学費補助事業	
8	スクールバス運行事業	
9	要保護及び準要保護児童生徒援助費補助事業及び特別支援教育就学奨励費補助事業	
10	学校生活サポート事業	
11	学校保健事業	
12	学校安全整備事業	
13	小・中学校備品整備事業	
14	児童生徒大会派遣費補助事業	
15	不登校児童生徒対策事業	
16	小・中学校楽器整備事業	
17	小・中学校校務支援システム導入事業	

施策名	施策の方向性
生涯学習の充実 【重点プロジェクト】	①地域づくりにつながる社会教育 ②北秋田市民ふれあいプラザを拠点とした生涯学習の充実と地域の活性化 ③学びの場・発表の場の提供 ④児童・生徒の学校外の学習・交流促進

No	事務事業名	【生涯学習課】
18	新成人事業	
19	日本語教室開催事業	
20	高齢者教育事業	
21	青少年育成事業	
22	公民館管理事業	
23	公民館講座開設事業	
24	花いっぱい運動推進事業	
25	農林業振興センター（鷹巣地区公民館）管理事業	
26	農村環境改善センター（合川公民館）管理事業	
27	コミュニティセンター（森吉公民館）管理事業	
28	ふるさと文化センター（阿仁公民館）管理事業	
29	陶芸ハウス管理事業	
30	あいターミナル管理事業	
31	北秋田市民ふれあいプラザ管理事業	
32	放課後児童健全育成事業	
33	放課後子ども教室推進事業	
34	地域学校協働本部事業（学校支援活動）	
35	家庭教育支援チーム推進事業	

施策名	施策の方向性
芸術・文化の継承と振興	①伊勢堂岱遺跡の世界遺産登録推進 ②芸術、文化活動の支援 ③有形文化財の保存と活用 ④無形文化財の保護と継承

No	事務事業名	【生涯学習課】
36	伊勢堂岱遺跡世界遺産登録推進事業	
37	縄文まつり開催事業	
38	交流センター管理事業	
39	交流センター改修事業	
40	図書館事業	
41	文化会館管理事業	
42	文化会館改修事業	
43	みちのく子供風土記館管理・改修事業	
44	浜辺の歌音楽館運営事業	
45	浜辺の歌音楽祭開催事業	
46	文化祭開催事業	
47	伊勢堂岱遺跡縄文館管理事業	
48	胡桃館遺跡埋蔵資料等管理事業	
49	文化財保護事業	
50	民俗芸能大会事業	

施策名	施策の方向性
スポーツの振興	①スポーツ環境の充実 ②生涯スポーツの推進・スポーツを通じた地域活性化 ③競技スポーツの向上

No	事務事業名	【スポーツ振興課】
51	北秋田市民プール管理運営事業	
52	薬師山スキー場管理運営事業	
53	100キロチャレンジマラソン大会補助事業	
54	北秋田市スキー大会等補助事業	
55	北秋田市スポーツ大会出場費補助事業	
56	北秋田市スポーツ大会開催補助事業	
57	北秋田市スポーツ文化等合宿誘致促進事業	

【個別点検・評価票】 ※比較のため、括弧書きで前年度の評価結果を記載しています。

1 あきたリフレッシュ学園事業			主管課	総務課																																																	
決算額	12,327 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)																																																
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	2 (2) 高い	4 (4) 継続																																																
活動内容	①あきたリフレッシュ学園 県内の人間関係やストレス等で心の問題に悩む小・中学生に、自然体験や農作業体験等さまざまな体験活動や集団活動を通して、心と体の元気を取り戻すきっかけと自立に向けた自信を与える場を提供した。 ②教育留学 (秋田県の委託事業) 当市の強みである豊かな教育資産を活かして、関係人口を増やし、家族ぐるみでの移住・定住につなげるため、市内の小・中学校に短期・長期で児童・生徒を受け入れ、当市の教育や自然を体験してもらった。																																																				
評価指標	①あきたリフレッシュ学園 学校に行けなくなった小・中学生への学びの場の提供 宿泊利用による規則正しい生活リズムの確立、学校復帰率70% ②教育留学 参加児童・生徒数、教育留学に関わる移住・定住者数																																																				
成果と課題	①あきたリフレッシュ学園 平成30年度は204日間開園し、20名の利用があった。中学3年生6名中4名が高校へ進学し、中学2年生以下14名中9名が年度途中に学校に通学できるようになった。学校復帰率は前年度の87%から65%と大幅減となったが、定期的な宿泊利用により、入園当初よりも健康的な生活を取り戻す子もみられた。一方、入園したものなかなか登園につながらない子もあり、この子たちとの関わり方が今後の課題である。 <div style="text-align: center;"> <p>あきたリフレッシュ学園利用者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>延利用者数</th> <th>実利用者数</th> <th>実利用者の内市内の児童生徒数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H20</td><td>243</td><td>8</td><td>0</td></tr> <tr><td>H21</td><td>547</td><td>9</td><td>1</td></tr> <tr><td>H22</td><td>982</td><td>20</td><td>1</td></tr> <tr><td>H23</td><td>656</td><td>14</td><td>3</td></tr> <tr><td>H24</td><td>870</td><td>16</td><td>6</td></tr> <tr><td>H25</td><td>776</td><td>16</td><td>8</td></tr> <tr><td>H26</td><td>1,018</td><td>19</td><td>7</td></tr> <tr><td>H27</td><td>1,098</td><td>17</td><td>10</td></tr> <tr><td>H28</td><td>975</td><td>16</td><td>8</td></tr> <tr><td>H29</td><td>964</td><td>15</td><td>8</td></tr> <tr><td>H30</td><td>891</td><td>20</td><td>9</td></tr> </tbody> </table> </div>					年度	延利用者数	実利用者数	実利用者の内市内の児童生徒数	H20	243	8	0	H21	547	9	1	H22	982	20	1	H23	656	14	3	H24	870	16	6	H25	776	16	8	H26	1,018	19	7	H27	1,098	17	10	H28	975	16	8	H29	964	15	8	H30	891	20	9
年度	延利用者数	実利用者数	実利用者の内市内の児童生徒数																																																		
H20	243	8	0																																																		
H21	547	9	1																																																		
H22	982	20	1																																																		
H23	656	14	3																																																		
H24	870	16	6																																																		
H25	776	16	8																																																		
H26	1,018	19	7																																																		
H27	1,098	17	10																																																		
H28	975	16	8																																																		
H29	964	15	8																																																		
H30	891	20	9																																																		
今後の方向性	①あきたリフレッシュ学園 家庭や在籍校、さわやか教室、スペース・イオ等関係機関との連携を図りながら、学校へ行けない子どもたちの貴重な学びの場として事業実施していく。 ②教育留学 秋田県の委託を受け継続実施しているが、今年度で県からの委託が終了するため、来年度以降の事業のあり方について、県の動向を踏まえながら検討して行く。																																																				
学識経験者の意見	あきたリフレッシュ学園については、復帰率だけを見ず、必要な事業だということをもっと周りに理解してもらわなければならないと思われる。 教育留学については市単独での実施は困難だが、ぜひ継続していただきたい。																																																				

【評価基準】

有効性……………1＝期待以下(90%以下)	2＝期待どおり(90%超)	3＝期待以上(100%超)
費用対効果…1＝課題あり(90%以下)	2＝予定どおり(90%超)	3＝予想以上(100%超)
必要性……………1＝低い	2＝高い	3＝不可欠
方向性……………1＝廃止・休止(終了)	2＝縮小	3＝統合
		4＝継続
		5＝拡大

2 小・中学校施設維持補修事業				主管課	総務課
決算額	(小)41,942千円 (中)44,250千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (5) 継続
活動内容	校舎、体育館等学校施設の機能を維持するため、経年劣化した建物や故障した設備の維持補修工事を行い学校生活の環境整備を図った。				
評価指標	当初予定工事の進捗率、緊急性を要する事案への対応。				
成果と課題	<p>当初予定していた工事については、想定したスケジュールにて実施した。工事数は、小学校施設35件、中学校施設19件の維持補修・改修工事を行い、緊急を要すると判断したものは都度対応し、学校環境の整備を図った。建物や設備の維持補修については、安全性や緊急性を考慮し優先順位を決めて進めているが、各学校施設とも老朽化が進み、年々改修箇所が増加傾向にある。予防保全的な視点に立って、効率良く改修・補修を進めていく。</p> <p>【主な工事（小学校）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○綴子小学校プールろ材交換工事 ろ材交換一式 ろ過機塗装一式 工事費 2,548,800円</li> <li>○阿仁合小学校トイレ改修工事 教室棟洋式化4箇所 工事費 3,580,200円</li> <li>○鷹巣小学校トイレ改修工事 職員来賓用洋式化3箇所 教室棟等洋式化9箇所 工事費13,235,400円</li> <li>○鷹巣小学校プール補修工事 プールサイド補修 566㎡ 工事費 6,480,000円</li> </ul> <p>【主な工事（中学校）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○合川中学校体育館床張替え工事 床張替え 991㎡ 工事費33,264,000円</li> <li>○合川中学校油配管改修工事 油配管改修 40m 工事費 1,684,800円</li> <li>○合川中学校調理室給水給湯管改修工事 管敷設 89m 工事費 2,667,600円</li> <li>○鷹巣中学校防火設備改修工事 防火ドア、シャッター改修一式 工事費 2,419,200円</li> </ul>				
今後の方向性	必要不可欠な事業であり、施設も老朽化が進んでいるため、今後も継続して事業を実施していく。				
学識経験者の意見	トイレの洋式化は生活様式の変化により、和式では用をたすことができない子どももいることから、非常によい。今後も児童・生徒の安心・安全を第一に考えながら学校環境の改善を進めて欲しい。				

【評価基準】

有効性……………1＝期待以下(90%以下)	2＝期待どおり(90%超)	3＝期待以上(100%超)
費用対効果…1＝課題あり(90%以下)	2＝予定どおり(90%超)	3＝予想以上(100%超)
必要性……………1＝低い	2＝高い	3＝不可欠
方向性……………1＝廃止・休止(終了)	2＝縮小	3＝統合
		4＝継続
		5＝拡大

3 学校給食センター運営事業				主管課	総務課
決 算 額	263,491 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (2) 不可欠	4 (4) 継続
活 動 内 容	市内各小中学校の児童、生徒に対し、給食を通じた食育を行い、健康の増進を図ることを目的として実施した。				
評 価 指 標	児童・生徒に対する給食の実施・栄養教諭による食育指導				
成 果 と 課 題	<p>学校教育の一環として、北秋田市内小学校10校1,156名、中学校5校669名及び受託事業として比内支援学校たかのす校44名への給食を実施。</p> <p>アレルギーを発症する児童生徒が増加している中、マニュアルに沿って、安全に給食を提供できた。食育指導では、上小阿仁村学校給食と共に、地元食材を使用した統一献立を実施。今年度は地元生産者の紹介や、使用した野菜の育つ様子なども取材し、各校に掲示して、児童・生徒の地産地消への理解を深めることができた。</p> <p>課題としては、給食費の未納額を減らすことができなかったため、今後の対策として、引き続き未納者への督促、催告、児童手当からの納付をお願いしていく。</p>				
今後の方向性	児童・生徒に対する給食の実施・栄養教諭による食育指導				
学識経験者の意見	地産地消の取り組みに敬意を表す。他県では登校すると玄関にその日のメニューがあり、食への関心が高まった事例もあるので参考にされたい。				

4 外国青年招致事業				主管課	学校教育課
決 算 額	31,470 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活 動 内 容	外国語活動・外国語指導の充実を図り、児童生徒のコミュニケーション能力の育成を目指し、外国語指導助手 (ALT) として、7名 (全てアメリカ出身) を招聘し、小学校10校、中学校5校に派遣した。ALTの人数や学級数、また派遣上の問題が特になければ、原則的に中学校区単位で同一のALTを担当させ、児童生徒の視点とALTの児童生徒理解の視点からも、小・中連携を図った。ALTコーディネーター派遣事業を実施し、ALTの資質向上に努めた。				
評 価 指 標	<p>①県学習状況調査平均通過率で県平均+3% (中1・中2)</p> <p>②同質問紙「外国語活動 (英語) の勉強が好きだ」が県平均+3% (小5～中2)</p> <p>③平成30年度から実施する英検IBA3級以上取得の割合が県平均を上回る。</p> <p>実態に応じて継続的に指導に当たる。</p>				
成 果 と 課 題	<p>①中1 : H30 -2.7, H29 -1.1      中2 : H30 +3.8, H29 +4.9</p> <p>②小5 : H30 +10.4, H29 +6.7      小6 : H30 +4.9, H29 +9.3</p> <p>    中1 : H30 -3.5, H29 -8.0      中2 : H30 -4.2, H29 +2.9</p> <p>③中3 : H30 (市49.1, 県46.3)      H29 (市55.4, 県44.9)</p> <p>県平均との±は目安の一つとして捉え、学年の実態に合わせた指導とともに、個に応じた指導の充実を図る必要がある。</p>				
今後の方向性	コーディネーター訪問を定期的に行い、ALTの資質向上を図っていく。新学習指導要領全面実施に向けて、学級担任がALTとティームティーチングを過度な負担なく行えるよう継続して支援できるようにする。				
学識経験者の意見	コーディネーターの配置はALTの資質向上と安心にもつながり非常によい。今後、小学校の外国語活動で好き嫌いが出てしまうのではないかとの思いがあるので、ALTの頑張りによりコミュニケーション能力の育成につなげてもらいたい。				

【評価基準】

有効性……………1=期待以下(90%以下)      2=期待どおり(90%超)      3=期待以上(100%超)  
費用対効果…1=課題あり(90%以下)      2=予定どおり(90%超)      3=予想以上(100%超)  
必要性……………1=低い      2=高い      3=不可欠  
方向性……………1=廃止・休止(終了)      2=縮小      3=統合      4=継続      5=拡大

5 総合学習補助事業				主管課	学校教育課
決算額	1,100 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	2 (2) 高い	5 (5) 拡大
活動内容	小・中学校において特色ある総合的な学習活動が充実できるよう各校の活動内容に応じて補助金を交付した。				
評価指標	各学校で、横断的・総合的な学習、探究的な学習を通じた特色ある活動を促す。				
成果と課題	農園活動、地域との交流活動、ふるさとを知る活動、伝統文化継承活動、福祉や産業に目を向け、職業観をもって自分の将来について考えられる取組など、幅広い分野において各校が地域の特徴を活かした総合的な学習を各校が実施した。				
今後の方向性	各学校の実態に応じて更なる創意工夫を促すために内容に応じた配分とする。				
学識経験者の意見	各校の活動内容に応じた配分は、各校の意識を高めるのに有効である。今後も地域のよさ、各校の特長を生かして継続実施してもらいたい。				

6 教育センター事業				主管課	学校教育課
決算額	4,083 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	2 (3) 高い	4 (4) 継続
活動内容	北秋田市学校教育ビジョンに掲げる「主体的に学び、新しい時代を創造する子ども」を目指す子どもの姿として、小・中学校の教職員研修を計画・実践した。組織を事業調査部、教職研修部、授業・教科部に分け、その中に各部会を設置し、一人一人に過度な負担をかけないようにしながら、教職員研修の充実を図った。				
評価指標	教職員に「事前研究会」と「授業研究会」についての満足度について尋ねる年度終盤に実施するアンケート（4段階評価）において、十分満足と概ね満足の合計が90%を超えるようにする。県学習状況調査の児童生徒アンケートで「学校生活に満足している（学校が楽しい）」の4段階評価で「4」の児童が70%、生徒が65%を超えるようにする。 実施時期を4月から1月に変更した市学力調査の実施時期を12月に変更し、引き続き年度内に回復指導を行うサイクルを確立する。				
成果と課題	<p>教職員アンケート結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前研修会（小学校90%、中学校97%）</li> <li>・授業研究会（小学校98%、中学校91%）</li> </ul> <p>県学習状況調査の児童生徒アンケート結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小4(67.6%)、小5(69.0%)、小6(58.6%)、中1(59.4%) 中2(52.4%)</li> </ul> <p>校務支援システムが運用されたことで、少しでも生徒に向き合う時間が確保できたと考えられるが、今後のアンケートによって検証していく。</p>				
今後の方向性	新学習指導要領移行期間に入り、令和2年度の全面実施に向けて、各校での教職員の研修を支援できるよう、教育センターの各部会の研修内容の充実を図る。校務支援システムと市学力調査Web評価システムを一層活用できるようにする。				
学識経験者の意見	市学力調査を12月に実施し、年度内に回復指導を行うサイクルが出来上がり、効果が見られ、多忙な教職員のためにもよいと評価される。				

【評価基準】

有効性……………1＝期待以下(90%以下)    2＝期待どおり(90%超)    3＝期待以上(100%超)  
費用対効果…1＝課題あり(90%以下)    2＝予定どおり(90%超)    3＝予想以上(100%超)  
必要性……………1＝低い    2＝高い    3＝不可欠  
方向性……………1＝廃止・休止(終了)    2＝縮小    3＝統合    4＝継続    5＝拡大

7 遠距離通学費補助事業				主管課	学校教育課
決 算 額	574 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活 動 内 容	小学校4km以上、中学校6km以上の遠距離通学者のうち、公共交通機関を利用することが可能な児童生徒にバス定期券を現物支給した。 ・鷹巣南小（坊山・四渡） 2名      ・鷹巣南中（坊山・四渡） 2名 ・前田小（根森田・塚田） 4名				
評 価 指 標	通学の安全と保護者の負担軽減。				
成 果 と 課 題	バス定期券を対象児童生徒全員に交付したことで、通学の安全と遠距離通学児童生徒が義務教育を受ける上での費用負担の不均衡が緩和された。 令和2年度の鷹巣中学校と鷹巣南中学校の統合により、坊山・四渡方面から鷹巣中学校までのバス路線がないことから、スクールバス等への変更が考えられる。				
今後の方向性	児童生徒の通学の安全確保と遠距離通学児童生徒が義務教育を受ける上での費用負担の均衡の観点から事業を継続していく。				
学識経験者の意見	広大な行政面積を有する当市では有効な事業であり、今後の学校統合も計画されていることから、継続実施を図りたい。				

8 スクールバス運行事業				主管課	学校教育課
決 算 額	57,752 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	5 (5) 拡大
活 動 内 容	遠距離通学者の交通手段として、スクールバス及びスクールタクシーを運行。 直営バス：11台    委託バス：2台    スクールタクシー：5台 小学校：10校（210人：18.2%）    中学校：5校（160人：23.9%）				
評 価 指 標	通学の安全と保護者の負担軽減。				
成 果 と 課 題	遠距離通学児童生徒が義務教育を受ける上での費用負担の不均衡が緩和されたが、スクールバス回送中とスクールタクシー運行中に各1件の事故が発生した。 安全運行の徹底を図るために運転手会議を開催し、運行時間の妥当性、運行ルート安全性を常に確認していく。				
今後の方向性	学校の統廃合に向けて、スクールバス等の運行計画を検討した上で、バスの必要台数を確保していく。				
学識経験者の意見	広大な行政面積を有する当市では有効な事業であり、今後の学校統合も計画されていることから、継続実施を図りたい。また、他市で実施している混乗等より有効な利活用について検討されたい。				

【評価基準】

有効性……………1＝期待以下(90%以下)    2＝期待どおり(90%超)    3＝期待以上(100%超)  
 費用対効果…1＝課題あり(90%以下)    2＝予定どおり(90%超)    3＝予想以上(100%超)  
 必要性……………1＝低い    2＝高い    3＝不可欠  
 方向性……………1＝廃止・休止(終了)    2＝縮小    3＝統合    4＝継続    5＝拡大

9 要保護・準要保護児童生徒援助費補助事業及び特別支援教育就学奨励費補助事業			主管課	学校教育課																	
決算額	32,404 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)																
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続																
活動内容	<p>教育の機会均等を図るため、経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者や特別支援学級入級者の保護者に対し、適正な就学機会を提供する必要があることから援助を行った。準要保護の認定については生活保護基準額に1.3を乗じた額とする。</p> <table border="0"> <tr> <td>要保護児童生徒</td> <td>小学校 5名 (0.4%)</td> <td>中学校 3名 (0.4%)</td> <td>594千円</td> </tr> <tr> <td>準要保護児童生徒</td> <td>小学校216名 (18.7%)</td> <td>中学校123名 (18.4%)</td> <td>31,810千円</td> </tr> <tr> <td>特別支援児童生徒</td> <td>小学校 14名 (1.2%)</td> <td>中学校 4名 (0.6%)</td> <td>385千円</td> </tr> <tr> <td>新入学学用品費入学前支給</td> <td>小学校 33名 (21.4%)</td> <td>中学校 28名 (15.2%)</td> <td>1,340千円</td> </tr> </table>					要保護児童生徒	小学校 5名 (0.4%)	中学校 3名 (0.4%)	594千円	準要保護児童生徒	小学校216名 (18.7%)	中学校123名 (18.4%)	31,810千円	特別支援児童生徒	小学校 14名 (1.2%)	中学校 4名 (0.6%)	385千円	新入学学用品費入学前支給	小学校 33名 (21.4%)	中学校 28名 (15.2%)	1,340千円
要保護児童生徒	小学校 5名 (0.4%)	中学校 3名 (0.4%)	594千円																		
準要保護児童生徒	小学校216名 (18.7%)	中学校123名 (18.4%)	31,810千円																		
特別支援児童生徒	小学校 14名 (1.2%)	中学校 4名 (0.6%)	385千円																		
新入学学用品費入学前支給	小学校 33名 (21.4%)	中学校 28名 (15.2%)	1,340千円																		
評価指標	保護者へ制度の説明と関係機関との連携で周知を図る。																				
成果と課題	<p>就学援助を希望する保護者、認定者が増加傾向にあり、今後も続くと思われる。また、社会福祉協議会からの相談もあり、制度についての勉強会を実施した。「新入学学用品費」の入学前支給について、平成29年度入学者から実施しており、今後も本制度について入学説明会やPTAで保護者に説明をして活用を促していく。</p>																				
今後の方向性	援助を必要とする児童生徒が、安心して義務教育を受けることができるよう、事業を継続していく。																				
学識経験者の意見	該当する方が確実に利用できるよう、説明会の開催やPTA等で周知を図り、制度を知らないということがないように取り組まれない。																				

10 学校生活サポート事業			主管課	学校教育課	
決算額	45,326 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (5) 継続
活動内容	<p>学習面や生活面において個別の配慮や支援の必要な児童生徒が学校生活に適應できることを目的として、小学校9校、中学校4校へ支援員を配置した。また、教職員と協力して適切な支援ができるよう、学級担任との合同研修会を実施した。</p> <p>配置人数・・・小学校24名、中学校7名 対象児童生徒数・・・小学校87名、中学校26名</p>				
評価指標	一人一人の状況や学級の実態に応じた支援が行われ、対象児童生徒が学校生活に適應している。				
成果と課題	<p>支援員を配置することにより、対象児童生徒が充実した学校生活を送ることができるほか、周囲の児童生徒が落ち着いて学習に取り組むことができることと、担任の負担が軽減され学級経営や授業づくりが充実することで、学校全体の教育効果を高めている。</p> <p>対象児童生徒は前年度から10名ほど増え、支援員一人当たりの担当児童が5人になる小学校が1校、中学校が1校ある。また、支援員1人が複数学級を受け持っている現状から、支援員の充実を図っていく必要がある。</p>				
今後の方向性	支援員を配置することにより、対象児童生徒が充実した学校生活を送ることができるほか、周囲の児童生徒が落ち着いて学習に取り組むことができることで、学級経営や授業づくりが充実するので継続する。				
学識経験者の意見	学校における子育て支援として非常に効果のある事業である。ニーズは増えていることから、支援員の増員も視野に継続実施を図りたい。				

【評価基準】

有効性……………1＝期待以下(90%以下)	2＝期待どおり(90%超)	3＝期待以上(100%超)
費用対効果…1＝課題あり(90%以下)	2＝予定どおり(90%超)	3＝予想以上(100%超)
必要性……………1＝低い	2＝高い	3＝不可欠
方向性……………1＝廃止・休止(終了)	2＝縮小	3＝統合
		4＝継続
		5＝拡大

11 学校保健事業				主管課	学校教育課
決 算 額	15,390 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活 動 内 容	<p>学校保健安全法に基づき、各校に学校医を委嘱し、児童生徒及び教職員の健康診断・各種検診及び健康相談を実施し、健康状態を把握することにより学校教育の円滑な実施を図った。</p> <p>内科医12名、歯科医5名、眼科医1名、耳鼻科医4名、学校薬剤師12名を委嘱。</p> <p>各種健康診断の実施実績 児童生徒 1,819名 受診率99.7%※在籍数1,825名            教職員 134名 受診率100% ※人間ドック除く            就学時健診 158名 受診率100%</p>				
評 価 指 標	児童生徒及び教職員の健康診断等の円滑な実施。 教職員のストレスチェックの実施。				
成 果 と 課 題	北秋田市医療団体との連携により健康診断及び各種検査等を円滑に実施することができた。また、北秋田市医療団体と業務協議会を開催し、学校保健等に関して意見交換することができた。				
今 後 の 方 向 性	学校保健事業の円滑な実施に向けて、医療団体と連携を図り継続していく。				
学 識 経 験 者 の 意 見	継続実施により、良好な職場環境、教育環境の維持に努められたい。				

12 学校安全整備事業				主管課	学校教育課
決 算 額	177 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	2 (2) 高い	4 (4) 継続
活 動 内 容	<p>子どもたちが安心して登校できるよう、安全対策の一つとして新入学児童生徒に防犯ブザーを配付した。</p> <p>熊の目撃情報が多発したことから、全小・中学校において警察署と猟友会による熊に対する安全教室を実施し、各学校で対応マニュアルを作成した。</p>				
評 価 指 標	新入学児童生徒に防犯ブザーの配布と学校安全に係る情報提供等の徹底。				
成 果 と 課 題	4月の学校始業時に併せて、市内全中学校1年生209名に防犯ブザーを配付した。(新小学校1年生には、他団体より防犯ブザーが寄贈された。) 熊目撃情報や自然災害発生状況に対して、教育委員会と学校が情報共有を図った。				
今 後 の 方 向 性	登下校時の安全対策として、新入学生に防犯ブザー配付を継続する。				
学 識 経 験 者 の 意 見	安全教室の開催や友達と一緒に帰る指導等、児童生徒の安全確保に努められたい。普段から地域の方と顔を合わせることも、安全対策として大切である。				

【評価基準】

有効性……………1＝期待以下(90%以下)    2＝期待どおり(90%超)    3＝期待以上(100%超)  
 費用対効果…1＝課題あり(90%以下)    2＝予定どおり(90%超)    3＝予想以上(100%超)  
 必要性……………1＝低い    2＝高い    3＝不可欠  
 方向性……………1＝廃止・休止(終了)    2＝縮小    3＝統合    4＝継続    5＝拡大



15 不登校児童生徒対策事業				主管課	学校教育課
決算額	1,385 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	市教育センター内に「北秋田さわやか教室」として、不登校児童生徒をサポートする適応指導教室を設置した。教職に携わったことのある教員免許取得者（非常勤職員）1名を配置し、学校や関係機関と連携しながら、学校復帰に向けた支援や学習指導を行った。				
評価指標	さわやか教室への通級がきっかけとなり、学校への登校日数が増える。生活習慣が向上する。				
成果と課題	5名が在籍し、そのうち3名が通級し、1名が学校復帰した。復帰した1名は、学校や保護者と連絡を密に取り合い、学習支援を継続することで復帰につながった。本人や家族とも面談を行い、状況に合わせて支援を行うことで、登校・登室に結び付くよう対応していく。				
今後の方向性	不登校(傾向)児童生徒の居場所となり、学校復帰に向けた取組ができる重要な場として今後も継続する。				
学識経験者の意見	継続実施により、学校復帰に向けて取り組まれない。				

16 小・中学校楽器整備事業				主管課	学校教育課
決算額	2,657 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	2 (2) 高い	1 (4) 廃(休)止・終了
活動内容	年次計画で、各中学校（平成26年度は鷹小を含む。）における楽器を新規購入し、その整備・充実を図った。				
評価指標	計画に沿って楽器の整備を行う。				
成果と課題	吹奏楽部（鷹巣小学校においては金管バンド部）の楽器を整備し、部活動の充実を図ることができた。 平成26年度 鷹巣小学校 森吉中学校 平成27年度 鷹巣中学校 平成28年度 阿仁中学校 平成29年度 合川中学校 平成30年度 鷹巣南中学校				
今後の方向性	各中学校においてグランドピアノの劣化が進んでいるため、学校統合も勘案しながら整備計画をたて順次対応する。				
学識経験者の意見	コンクールでの成績もよく、交流学习の成果が現れている。学校要望も踏まえながら、整備計画により充実を図られたい。				

【評価基準】

有効性……………1＝期待以下(90%以下)    2＝期待どおり(90%超)    3＝期待以上(100%超)  
費用対効果…1＝課題あり(90%以下)    2＝予定どおり(90%超)    3＝予想以上(100%超)  
必要性……………1＝低い    2＝高い    3＝不可欠  
方向性……………1＝廃止・休止(終了)    2＝縮小    3＝統合    4＝継続    5＝拡大

17 小・中学校校務支援システム導入事業				主管課	学校教育課
決算額	10,498 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 - 期待どおり	2 - 予定どおり	3 - 不可欠	4 - 継続
活動内容	平成29年度に公募型プロポーザル方式によりシステムの賃貸借事業者を選定し、長期継続契約を締結。平成30年度から本格運用とした。				
評価指標	システム運用研修を実施し、教員の校務負担軽減と教育の質的向上に繋げる。				
成果と課題	夏季休業中に全教職員に対してアンケート調査を行い、システム導入の効果、現行システムの改善点や教育委員会の支援の在り方等について検討する。				
今後の方向性	教員の校務負担軽減と教育の質的向上を図るために事業継続する。				
学識経験者の意見	担当が変わっても同じデータを使用できるよさがあり、校務負担の軽減を図り、教育の質的向上に努められたい。				

18 新成人事業				主管課	生涯学習課
決算額	569 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	新成人自らが運営に参加し、実行委員会を組織して、市内在住者及び市内中学校・大館国際情報学院中学校卒業者を対象とし、成人式を実施。記念式典、記念講演(講師：秋田ノーザンハピネッツ株式会社 代表取締役社長の水野勇氣氏)、記念撮影、二十歳のメッセージ集「はじめの一步」を作成して二十歳の門出を祝福した。				
評価指標	自らが運営する成人式とするため、実行委員会の参加者と全体の参加率を増やす。				
成果と課題	成人式実行委員会による自主運営を図り、しおりの作成や受付など新成人自らが運営に参加して成人の節目を祝うことができた。321名中234名(73%)の新成人が地元開催の成人式に出席している。今後は成人年齢引き下げによる成人式のあり方を検討し、より一層地元へ愛着を持ち続けることができる内容として参加率をあげる。				
今後の方向性	継続して実施していくが、参加率の向上や成人年齢の引き下げへの対応も含め、成人式のあり方について検討していく。				
学識経験者の意見	非常に素晴らしい式典であることから、より多くの新成人が参加できるよう検討されたい。				

【評価基準】

有効性……………1＝期待以下(90%以下)    2＝期待どおり(90%超)    3＝期待以上(100%超)  
費用対効果…1＝課題あり(90%以下)    2＝予定どおり(90%超)    3＝予想以上(100%超)  
必要性……………1＝低い    2＝高い    3＝不可欠  
方向性……………1＝廃止・休止(終了)    2＝縮小    3＝統合    4＝継続    5＝拡大

19 日本語教室開催事業				主管課	生涯学習課
決算額	413 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	2 (3) 高い	4 (4) 継続
活動内容	市内で生活する外国の方を対象に年間35回の日本語教室を開催して、日本語の習得と日本文化の理解につながるようサポートした。				
評価指標	親しみやすい教室と参加し易い環境を整え、登録者の参加を増やす。				
成果と課題	日本語教室での学びが、自動車運転免許取得・日本語能力検定試験受験・2級ホームヘルパー講習受講などにつながっている。また、受講者同士が家族ぐるみで交流会や料理教室を企画するなど個人のスキルアップや北秋田市での生活を楽しむことができる支援になっている。今後は、これまでのメニューに加え、ゴミ捨てなど身近な生活ルールを覚えることも支援していきたい。				
今後の方向性	継続して開催し、日本での生活が維持できるようサポートする。				
学識経験者の意見	秋田県は外国人就労者が全国一少ないというデータがある。企業のニーズに結びついていない実態もあることから、今後の支援について検討されたい。				

20 高齢者教育事業				主管課	生涯学習課
決算額	636 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	2 (3) 高い	4 (4) 継続
活動内容	市内4地区（鷹巣・合川・森吉・阿仁）において、高齢者の学びの機会を充実させ、生きがいをづくりや仲間づくりのために講座等を開催した。 ・入学・開講式、全体講座、移動研修、卒業・閉講式 ・クラブ活動や学園祭（鷹巣地区のみ）などの活動が行われ学習意欲を高めた。				
評価指標	高齢者の生きがいをづくりや仲間づくりに向けた講座の開催と地域課題の解決・探求に向けた、グループワークの手法を取り入れた講座等を開催する。				
成果と課題	全体講座では地域の身近な課題を多くとり上げ、高齢世代が地域の中でどのような役割を持つことができるかを考えることで意識に変化がみられた。 高齢者大学での活動をとおして、多くの学生が学び合い、生涯現役という気概が醸成され、新たな生きがいをづくりにつながっている。 今後は学んだ成果を地域に還元できるよう、講座運営やクラブ活動において、受講生の主体性をより引き出す仕組みづくりが求められる。				
今後の方向性	引き続き、高齢者の生きがいをづくりはもちろん、受講生個々の主体性を育むための学びの機会を提供する。				
学識経験者の意見	元気な高齢者は医療費の縮小にもつながることから、今後も高齢者がより主体性を持って取り組めるよう努められたい。				

【評価基準】

有効性……………1＝期待以下(90%以下)    2＝期待どおり(90%超)    3＝期待以上(100%超)  
費用対効果…1＝課題あり(90%以下)    2＝予定どおり(90%超)    3＝予想以上(100%超)  
必要性……………1＝低い    2＝高い    3＝不可欠  
方向性……………1＝廃止・休止(終了)    2＝縮小    3＝統合    4＝継続    5＝拡大

21 青少年育成事業				主管課	生涯学習課
決 算 額	567 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活 動 内 容	<p>青少年育成北秋田市民会議・少年保護育成委員会は、非行防止活動や青少年の見守り活動を実施した。</p> <p>青少年問題協議会は、啓蒙意識を高めるため、委員の活動報告や情報交換、研修会を開催した。「社会的養育の子育てについて」(12月)</p> <p>鷹巣東小学校において「防災キャンプ」を実施し、講話や避難所開設の体験をしている。</p>				
評 価 指 標	育成団体等による情報交換や研修会等の開催と学校・地域の協働で防災キャンプを実施する。				
成 果 と 課 題	地域課題に合わせた研修会を開催したほか、情報交換をすることにより、青少年を取り巻く環境について、関係団体や行政機関との問題意識の共有を図ることができた。				
今後の方向性	地域の大人が青少年を育成するための課題や情報を共有する場を提供する。				
学識経験者の意見	少ない予算で取り組めるのは、地域の協力あつてのもので、本事業継続の必要性を強く感じる。防災キャンプ実施は非常によく、益々必要性は高まっている。				

22 公民館管理事業				主管課	生涯学習課
決 算 額	123,145 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	2 (2) 高い	3 (3) 統合
活 動 内 容	坊沢公民館、合川駅前公民館、前田公民館の維持管理、栄公民館の建設工事を完成した。				
評 価 指 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の拠点として住民が活用しやすい維持管理により利用者を増やす。</li> <li>栄公民館を年度内に完成させる。</li> </ul>				
成 果 と 課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄公民館は年度内に完成し、平成31年4月1日にオープンした。</li> <li>その他公民館の実質的な利用者数はほぼ横ばいであった。</li> <li>合川駅前公民館は老朽化が著しく解体の方向で進める。</li> </ul>				
今後の方向性	合川駅前公民館は解体する。 その他の公民館は、適切に維持管理し利用者の利便性向上に努める。				
学識経験者の意見	施設の維持管理に努めながら、他自治体の取り組み等も参考に、多目的な利活用についても検討されたい。				

【評価基準】

有効性……………1＝期待以下(90%以下)    2＝期待どおり(90%超)    3＝期待以上(100%超)  
費用対効果…1＝課題あり(90%以下)    2＝予定どおり(90%超)    3＝予想以上(100%超)  
必要性……………1＝低い    2＝高い    3＝不可欠  
方向性……………1＝廃止・休止(終了)    2＝縮小    3＝統合    4＝継続    5＝拡大

23 公民館講座開設事業				主管課	生涯学習課
決 算 額	3,126 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	3 (3) 予想以上	2 (2) 高い	4 (4) 継続
活 動 内 容	趣味・教養・課題解決のための講座など内容の充実に努めた。また、学んだことを地域活動に生かし、地域づくりへの人材育成を図った。				
評 価 指 標	住民の要望に応えるような講座と学ばせたい講座を開催し、参加者を増やす。				
成果と課題	各公民館での定期・短期・公開講座等の受講者数は延べ4,879人と盛況であり、生涯学習フェスタ等で成果を発表することを通して、生涯学習に対する意識の向上につながった。 受講者数だけでなく、社会的なニーズを把握し、学びたい講座・学ばせたい講座をバランスよく設定する必要がある。				
今後の方向性	住民の要望に応えるような講座と学ばせたい講座をバランスよく開催する。				
学識経験者の意見	公民館講座で学び、自主講座に移行、そして県展で入賞するといった素晴らしいモデルが出来たのは、他の講座の励みになり、正に望ましい姿ではないかと思う。				

24 花いっぱい運動推進事業				主管課	生涯学習課
決 算 額	369 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活 動 内 容	花いっぱい運動推進協議会が推進する「北秋田市花だんコンクール」の開催、各団体や市民へ花の種子を配布し、地域ぐるみでの環境美化運動を支援した。前田小学校と地域団体が協働し、市の花アジサイ50本を植栽する植樹活動を行い、環境学習や人材育成へ貢献した。				
評 価 指 標	コンクールへの参加募集の周知方法を改善し、花だんコンクールの参加団体・参加者を増やす。				
成果と課題	花づくりによる美しいまちづくりを目指し、小学生との協働で植栽活動を実施し、美しいまちへの感心が高まった。花だんコンクールの参加団体数、個人参加者数が減る傾向にあることから、参加者数を増やせるような取り組みを図っていく必要がある。 * 市花だんコンクール応募数 14団体・4個人				
今後の方向性	花だんコンクールや地域と小学校が連携した植栽活動をとおして、花を育てることで心が潤い地域が元気になることを広められるような、交流型の取り組みを図る。				
学識経験者の意見	花は潤いや安らぎをもたらすことから、取り組みの強化に努められたい。				

【評価基準】

有効性……………1＝期待以下(90%以下)    2＝期待どおり(90%超)    3＝期待以上(100%超)  
費用対効果…1＝課題あり(90%以下)    2＝予定どおり(90%超)    3＝予想以上(100%超)  
必要性……………1＝低い    2＝高い    3＝不可欠  
方向性……………1＝廃止・休止(終了)    2＝縮小    3＝統合    4＝継続    5＝拡大

25 農林業振興センター（鷹巣地区公民館）管理事業				主管課	生涯学習課																								
決算額	17,146 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)																								
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続																								
活動内容	七座、綴子、沢口、七日市公民館の維持管理に努め、施設利用者の利便性向上を図った。																												
評価指標	大規模修繕、耐震診断の年次計画の作成																												
成果と課題	<p>地域の拠点として利用しやすく、多くの市民に親しまれる公民館を目指し適切な管理が行われた。</p> <p>七日市、沢口公民館は老朽化が進んでおり、近く予定されている小学校の統合後の他施設との調整も含めて検討が必要である。</p>																												
	<p style="text-align: center;">公民館利用者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鷹巣地区 6 公民館 (七座、坊沢、綴子、栄、沢口、七日市)</td> <td>46,502</td> <td>39,149</td> <td>37,233</td> <td>30,843</td> </tr> <tr> <td>合川地区 2 公民館 (合川、合川駅前)</td> <td>19,098</td> <td>22,447</td> <td>24,209</td> <td>23,193</td> </tr> <tr> <td>森吉地区 2 公民館 (森吉、前田)</td> <td>22,804</td> <td>21,028</td> <td>19,242</td> <td>18,026</td> </tr> <tr> <td>阿仁地区 2 公民館 (阿仁、大阿仁)</td> <td>11,072</td> <td>13,135</td> <td>11,985</td> <td>12,609</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 栄公民館は解体・建設工事のため、H29.10からH31.3まで貸館を行わなかった。</p>					地区	H27	H28	H29	H30	鷹巣地区 6 公民館 (七座、坊沢、綴子、栄、沢口、七日市)	46,502	39,149	37,233	30,843	合川地区 2 公民館 (合川、合川駅前)	19,098	22,447	24,209	23,193	森吉地区 2 公民館 (森吉、前田)	22,804	21,028	19,242	18,026	阿仁地区 2 公民館 (阿仁、大阿仁)	11,072	13,135	11,985
地区	H27	H28	H29	H30																									
鷹巣地区 6 公民館 (七座、坊沢、綴子、栄、沢口、七日市)	46,502	39,149	37,233	30,843																									
合川地区 2 公民館 (合川、合川駅前)	19,098	22,447	24,209	23,193																									
森吉地区 2 公民館 (森吉、前田)	22,804	21,028	19,242	18,026																									
阿仁地区 2 公民館 (阿仁、大阿仁)	11,072	13,135	11,985	12,609																									
今後の方向性	老朽化が進んでおり、今後予定されてる耐震診断の結果を踏まえて大規模改修や建て替え、移転なども検討する。																												
学識経験者の意見	高齢者の活動拠点となり、なくてはならない施設なので、施設の維持管理に努めながら、ソフト事業の一層の充実を図りたい。また、避難所ともなっていることから、これからの公民館の活用の仕方についても検討されたい。																												

【評価基準】

有効性……………1＝期待以下(90%以下)	2＝期待どおり(90%超)	3＝期待以上(100%超)
費用対効果…1＝課題あり(90%以下)	2＝予定どおり(90%超)	3＝予想以上(100%超)
必要性……………1＝低い	2＝高い	3＝不可欠
方向性……………1＝廃止・休止(終了)	2＝縮小	3＝統合
		4＝継続
		5＝拡大

26 農村環境改善センター（合川公民館）管理事業				主管課	生涯学習課																									
決算額	16,813 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)																									
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続																									
活動内容	合川公民館施設の維持管理に努め、施設利用者の利便性向上を図った。																													
評価指標	非常放送設備改修工事及び和室雨漏改修工事の実施と適切な維持管理により、利用者を増やす。																													
成果と課題	<p>適切な維持管理を行ったことで、講座やサークル活動、地域活動等で市民が安心して利用できた。利用者については、合川地区2公民館で23,193人、内合川公民館は22,133人で対前年比1,065人の減となったが、全12公民館の減少率91.4%に比べると95.4%と小幅なものとなった。建物耐震診断の結果、1階2階ともに強度不足から必要耐震性能を確保しておらず、大規模な補強が必要であると判定された。建物は建設から37年経過しており外壁や設備機器の劣化も著しいことから解体・建て替えを検討する。</p> <table border="1"> <caption>公民館利用者数</caption> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鷹巣地区 6 公民館 (七座、坊沢、綴子、栄、沢口、七日市)</td> <td>46,502</td> <td>39,149</td> <td>37,233</td> <td>30,843</td> </tr> <tr> <td>合川地区 2 公民館 (合川、合川駅前)</td> <td>19,098</td> <td>21,028</td> <td>19,242</td> <td>18,026</td> </tr> <tr> <td>森吉地区 2 公民館 (森吉、前田)</td> <td>22,804</td> <td>22,447</td> <td>24,209</td> <td>23,193</td> </tr> <tr> <td>阿仁地区 2 公民館 (阿仁、大阿仁)</td> <td>11,072</td> <td>13,135</td> <td>11,985</td> <td>12,609</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 栄公民館は解体・建設工事のため、H29.10からH31.3まで貸館を行わなかった。</p>					地区	H27	H28	H29	H30	鷹巣地区 6 公民館 (七座、坊沢、綴子、栄、沢口、七日市)	46,502	39,149	37,233	30,843	合川地区 2 公民館 (合川、合川駅前)	19,098	21,028	19,242	18,026	森吉地区 2 公民館 (森吉、前田)	22,804	22,447	24,209	23,193	阿仁地区 2 公民館 (阿仁、大阿仁)	11,072	13,135	11,985	12,609
地区	H27	H28	H29	H30																										
鷹巣地区 6 公民館 (七座、坊沢、綴子、栄、沢口、七日市)	46,502	39,149	37,233	30,843																										
合川地区 2 公民館 (合川、合川駅前)	19,098	21,028	19,242	18,026																										
森吉地区 2 公民館 (森吉、前田)	22,804	22,447	24,209	23,193																										
阿仁地区 2 公民館 (阿仁、大阿仁)	11,072	13,135	11,985	12,609																										
今後の方向性	継続して維持管理に努めながら、解体・建て替えを具体化していく。																													
学識経験者の意見	高齢者の活動拠点となり、なくてはならない施設なので、施設の維持管理に努めながら、ソフト事業の一層の充実を図られたい。また、避難所ともなっていることから、これからの公民館の活用の仕方についても検討されたい。																													

【評価基準】

有効性……………1＝期待以下(90%以下)	2＝期待どおり(90%超)	3＝期待以上(100%超)
費用対効果…1＝課題あり(90%以下)	2＝予定どおり(90%超)	3＝予想以上(100%超)
必要性……………1＝低い	2＝高い	3＝不可欠
方向性……………1＝廃止・休止(終了)	2＝縮小	3＝統合
		4＝継続
		5＝拡大

27 コミュニティセンター（森吉公民館）管理事業				主管課	生涯学習課																									
決算額	9,912 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)																									
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続																									
活動内容	森吉公民館施設整備の充実を図り、利用者の利便性向上に努めた。																													
評価指標	適切な維持管理により、利用者を増やす。																													
成果と課題	<p>施設利用者の安全確保と施設管理として、非常階段修繕、大ホールルーフドレン漏水修繕を行ったことにより、講座やサークル活動、地域活動等で、市民が安心して利用することができた。利用者については、森吉地区2公民館で18,026人、内森吉公民館は14,270人で対前年比1,106人の減となり、全12公民館の減少率91.4%に比べ92.8%とやや小幅なものとなった。</p> <table border="1"> <caption>公民館利用者数</caption> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鷹巣地区 6 公民館</td> <td>46,502</td> <td>39,149</td> <td>37,233</td> <td>30,843</td> </tr> <tr> <td>合川地区 2 公民館</td> <td>19,098</td> <td>21,028</td> <td>24,209</td> <td>23,193</td> </tr> <tr> <td>森吉地区 2 公民館</td> <td>22,804</td> <td>22,447</td> <td>19,242</td> <td>18,026</td> </tr> <tr> <td>阿仁地区 2 公民館</td> <td>11,072</td> <td>13,135</td> <td>11,985</td> <td>12,609</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 栄公民館は解体・建設工事のため、H29.10からH31.3まで貸館を行わなかった。</p>					地区	H27	H28	H29	H30	鷹巣地区 6 公民館	46,502	39,149	37,233	30,843	合川地区 2 公民館	19,098	21,028	24,209	23,193	森吉地区 2 公民館	22,804	22,447	19,242	18,026	阿仁地区 2 公民館	11,072	13,135	11,985	12,609
地区	H27	H28	H29	H30																										
鷹巣地区 6 公民館	46,502	39,149	37,233	30,843																										
合川地区 2 公民館	19,098	21,028	24,209	23,193																										
森吉地区 2 公民館	22,804	22,447	19,242	18,026																										
阿仁地区 2 公民館	11,072	13,135	11,985	12,609																										
今後の方向性	今後も適切な維持管理を行い、市民が安心して利用できるような環境を整えていく。																													
学識経験者の意見	高齢者の活動拠点となり、なくてはならない施設なので、施設の維持管理に努めながら、ソフト事業の一層の充実を図られたい。また、避難所ともなっていることから、これからの公民館の活用の仕方についても検討されたい。																													

【評価基準】

有効性……………1＝期待以下(90%以下)	2＝期待どおり(90%超)	3＝期待以上(100%超)
費用対効果…1＝課題あり(90%以下)	2＝予定どおり(90%超)	3＝予想以上(100%超)
必要性……………1＝低い	2＝高い	3＝不可欠
方向性……………1＝廃止・休止(終了)	2＝縮小	3＝統合
		4＝継続
		5＝拡大

28 ふるさと文化センター（阿仁公民館）管理事業				主管課	生涯学習課																								
決算額	8,017 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)																								
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続																								
活動内容	公民館施設の維持管理に努め、各種講座やサークル活動、地域活動等、地域住民利用者の利便性向上に努めた。																												
評価指標	適切な維持管理を行い、利用者を増やす。																												
成果と課題	適切な維持管理を行うことにより、市民が安心安全に利用できた。利用者については、阿仁地区2公民館で12,609人、内阿仁公民館は9,814人で512人の増となった。今後も地域の拠点として、利用しやすく親しまれる公民館を目指す。																												
	<p style="text-align: center;">公民館利用者数</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鷹巣地区6公民館</td> <td>46,502</td> <td>39,149</td> <td>37,233</td> <td>30,843</td> </tr> <tr> <td>合川地区2公民館</td> <td>19,098</td> <td>22,447</td> <td>24,209</td> <td>23,193</td> </tr> <tr> <td>森吉地区2公民館</td> <td>22,804</td> <td>21,028</td> <td>19,242</td> <td>18,026</td> </tr> <tr> <td>阿仁地区2公民館</td> <td>11,072</td> <td>13,135</td> <td>11,985</td> <td>12,609</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 栄公民館は解体・建設工事のため、H29.10からH31.3まで貸館を行わなかった。</p>					地区	H27	H28	H29	H30	鷹巣地区6公民館	46,502	39,149	37,233	30,843	合川地区2公民館	19,098	22,447	24,209	23,193	森吉地区2公民館	22,804	21,028	19,242	18,026	阿仁地区2公民館	11,072	13,135	11,985
地区	H27	H28	H29	H30																									
鷹巣地区6公民館	46,502	39,149	37,233	30,843																									
合川地区2公民館	19,098	22,447	24,209	23,193																									
森吉地区2公民館	22,804	21,028	19,242	18,026																									
阿仁地区2公民館	11,072	13,135	11,985	12,609																									
今後の方向性	継続して、施設内外の適切な維持管理に努める。																												
学識経験者の意見	高齢者の活動拠点となり、なくてはならない施設なので、施設の維持管理に努めながら、ソフト事業の一層の充実を図られたい。また、避難所ともなっていることから、これからの公民館の活用の仕方についても検討されたい。																												

【評価基準】

有効性……………1＝期待以下(90%以下)	2＝期待どおり(90%超)	3＝期待以上(100%超)
費用対効果…1＝課題あり(90%以下)	2＝予定どおり(90%超)	3＝予想以上(100%超)
必要性……………1＝低い	2＝高い	3＝不可欠
方向性……………1＝廃止・休止(終了)	2＝縮小	3＝統合
		4＝継続
		5＝拡大

29 陶芸ハウス管理事業				主管課	生涯学習課
決算額	225 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		1 (1) 期待以下	1 (1) 課題あり	2 (2) 高い	4 (2) 継続
活動内容	陶芸ハウス利用の充実を図るための維持管理と利用者増に向けた働きかけをした。				
評価指標	指導者の確保と教育関係機関・関係団体に広く活用を呼びかけることで利用者を増やす。				
成果と課題	あいかわ保育園児による陶芸体験は、創作の興味を育むことができた。利用者については、初心者向け陶芸教室(92人)等に取り組んだことにより44人の増となっている。今後も教育関係機関・その他の関係団体と連携を図り、利用者を増やすことや新たな陶芸指導者の掘り起こしと育成が引き続き課題である。				
今後の方向性	教育関係機関・その他の関係団体や個人など、市全体を対象に広く活用を呼びかけて、利用の促進と継続した維持管理に努める。				
学識経験者の意見	長年の課題解消には至っていないが、存続させるだけでも意義がある。阿仁焼き等市内の焼き物を集約させたり、PTAの文化活動で陶芸を行っている事例もあることから、更なる利活用について検討されたい。				

30 あいターミナル管理事業				主管課	生涯学習課
決算額	1,278 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		1 (1) 期待以下	1 (1) 課題あり	2 (2) 高い	4 (4) 継続
活動内容	あいターミナルを市民が安心して利用できるよう施設の維持管理を行った。				
評価指標	施設の利用者とPC講座への参加者を増やす。				
成果と課題	初心者向けPC講座、年賀状作成講座を開設して市民の利用を図った。利用者については、32人の減であった。上杉自治会の拠点としての機能を併せもつことから、今後の利活用方法や運営管理について検討が必要である。				
今後の方向性	維持管理及び環境整備に努め、市民向けPC講座を開催する。				
学識経験者の意見	立地がよいことから、沿線で撮影した画像をプリントアウトできるようにするなど、秋田内陸線と抱き合わせで利活用することを検討されたい。				

【評価基準】

有効性……………1＝期待以下(90%以下)    2＝期待どおり(90%超)    3＝期待以上(100%超)  
費用対効果…1＝課題あり(90%以下)    2＝予定どおり(90%超)    3＝予想以上(100%超)  
必要性……………1＝低い    2＝高い    3＝不可欠  
方向性……………1＝廃止・休止(終了)    2＝縮小    3＝統合    4＝継続    5＝拡大

31 北秋田市民ふれあいプラザ管理事業				主管課	生涯学習課												
決 算 額	117,218 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)												
		3 (3) 期待以上	3 (3) 予想以上	3 (3) 不可欠	5 (5) 拡大												
活 動 内 容	<p>中心市街地の拠点として、「憩い」「交流」「にぎわい」をコンセプトに、市民向け講座等を開催したほか、イベント利用者・自由来館者が快適に過ごせるよう施設の維持管理を行い、年間の来館者数は295,481人と30万人に迫り、計画を大きく上回った。北秋田市民ふれあいプラザの運営の審議及びふれあいプラザを中心としたにぎわいづくりを図ることを目的に「にぎわいづくり委員会」を設置した。災害時の避難所となった場合を想定した非常用発電設備は6月に完成した。</p>																
評 価 指 標	<p>・「憩い」「交流」「にぎわい」をコンセプトに、多くの方々に利用されるような維持管理により、市民の声を取り入れながら随時改良を重ねて愛される施設を目指して、利用者を増やす。 ・使用のしおり、使用のルールを策定する。</p>																
成 果 と 課 題	<p>・利用者のニーズに合わせた適切な管理運営を行い、来館者の増加に繋がった。 ・年間来館者数（貸館）67,859人と前年を約1,700人上回ったほか、自由来館を含む年間来館者数は295,481人となり、平成28年のオープンから平成31年3月末までの来館者数は、801,721人となっている。 ・チャレンジブースの翌年度の出店者が決まった。 ・予約申込みが重複する人気施設となっていることから、予約方法や使用のルール等の整備が必要となっている。</p>																
	<p style="text-align: center;">北秋田市民ふれあいプラザ利用者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>来館者数</th> <th>内、貸館利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>236,536</td> <td>53,689</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>269,704</td> <td>66,114</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>295,481</td> <td>67,859</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成28年4月30日オープン</p>					年度	来館者数	内、貸館利用者数	H28	236,536	53,689	H29	269,704	66,114	H30	295,481	67,859
年度	来館者数	内、貸館利用者数															
H28	236,536	53,689															
H29	269,704	66,114															
H30	295,481	67,859															
今後の方向性	<p>引き続き中心市街地の活性化を図る拠点施設として、市民に親しまれる管理運営に心がける。非常用発電設備も完成し、災害避難所としての役割も担っていく。</p>																
学識経験者の意見	<p>今後も中心市街地の拠点として利用拡大してもらいたい。それぞれ効果が上がっているのが見られる。</p>																

【評価基準】

有効性……………1＝期待以下(90%以下)	2＝期待どおり(90%超)	3＝期待以上(100%超)
費用対効果…1＝課題あり(90%以下)	2＝予定どおり(90%超)	3＝予想以上(100%超)
必要性……………1＝低い	2＝高い	3＝不可欠
方向性……………1＝廃止・休止(終了)	2＝縮小	3＝統合
		4＝継続
		5＝拡大

32 放課後児童健全育成事業				主管課	生涯学習課
決 算 額	96,812 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活 動 内 容	市内10箇所、15児童クラブ実施（うち6クラブは社会福祉協議会に運営委託） 延べ登録児童数は617人。 保護者が仕事等により留守になる家庭の児童について、放課後等に必要な保育を行い、健全な育成を図るため放課後児童クラブを開設した。				
評 価 指 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室との連携により、地域ぐるみで児童の安全や健全育成を推進し、利用者を増やす。</li> <li>・学校統合にあわせた整備計画を作成する。</li> </ul>				
成 果 と 課 題	放課後児童クラブにおいて、子ども達が安心安全に過ごせるよう、指導員の不足人員の確保を行った。今後も継続して事業を行うため、人材の育成と確保が必要である。				
今 後 の 方 向 性	学校の統廃合に合わせて、必要な施設の改修・整備計画を策定し、持続的な事業の継続を目指す。				
学 識 経 験 者 の 意 見	なくてはならない事業であり、非常に子育てに力を入れて取り組んでいると評価される。				

33 放課後子ども教室推進事業				主管課	生涯学習課
決 算 額	3,373 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活 動 内 容	放課後子ども教室推進事業10教室実施 いきいきタイム（鷹巣、栄、綴子、沢口、七日市、合川、米内沢、前田、阿仁合、大阿仁）延べ参加人数 4,887名 放課後等に、地域住民の参画を得て、ふるさと学習や体験活動等の機会を提供した。また、放課後児童クラブとの一体型運営を7箇所（鷹巣・中央・合川・米内沢・前田・阿仁合・大阿仁）に拡充し、安心安全な居場所づくりを推進した。				
評 価 指 標	放課後児童クラブとの連携で児童の学習活動や自然体験活動の実施と地域学習を指導できる人材を確保する。				
成 果 と 課 題	地域人材を活用した体験活動の推進を図り、子ども達のがのびのびと過ごしながら地域の良さを知る活動や異学年交流を推進することができた。しかし、子どもの体験学習を支援する支援員が、多忙化や高齢化、家庭の事情等から辞退するケースがあり、そのため実施回数が減っている。子ども達の放課後の体験活動の充実を図るためにも人材の確保が喫緊の課題となっている。				
今 後 の 方 向 性	子ども達に地域の自然や文化を教えることで、地元の魅力を伝えていくような取り組みとするため、人材を確保して活動回数を維持する。				
学 識 経 験 者 の 意 見	非常によい事業であり、継続実施を図られたい。				

【評価基準】

有効性……………1＝期待以下(90%以下)    2＝期待どおり(90%超)    3＝期待以上(100%超)  
 費用対効果…1＝課題あり(90%以下)    2＝予定どおり(90%超)    3＝予想以上(100%超)  
 必要性……………1＝低い    2＝高い    3＝不可欠  
 方向性……………1＝廃止・休止(終了)    2＝縮小    3＝統合    4＝継続    5＝拡大

34 地域学校協働本部事業（学校支援活動）				主管課	生涯学習課
決算額	909 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	市内の全ての学校において地域と学校が連携して活動した。地域の人材を活用した学習活動、環境の整備、学習支援、クラブ活動の支援、体験活動や地域探検、登下校時の見守りなど様々な分野で支援と活動を行った。また、田んぼアート（田植え）との協働活動や第2の公民館とした学校の利活用の他、学校と地域が連携し一緒に取り組む活動が市全体で増えてきた。				
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題や情報を共有する機会を提供する。</li> <li>・学校と地域との協働活動の成果をまとめる。</li> </ul>				
成果と課題	<p>地域と学校が共に人材育成に関わり、子ども達の学習や体験活動の支援を充実させることができた。今後は、ふるさとの良さを知る体験や学習の機会を増やししながら、地域と学校の協働体制を更に深める。公民館を活用し学校を支える地域人材の育成を図り、学校運営協議会制度導入に向けて、体制を整えていく。</p> <p>※補助実施校 1校（鷹巣小） ※単独実施校 14校</p>				
今後の方向性	学校運営協議会制度導入の準備として、地域協働の課題の共有を図るために、学校、市民、コーディネーター、公民館等と一緒に話し合える熟議の場を設け、各校での課題の共有を図る。				
学識経験者の意見	教育効果の高い事業であり、継続実施を図られたい。				

35 家庭教育支援チーム推進事業				主管課	生涯学習課
決算額	784 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (2) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	親の学びや育ちを応援するため、地域の多様な人材で構成する「家庭教育支援チーム」を設置し、講演会等の開催により家庭教育に関する情報提供を行ったほか、チーム員への継続的な研修機会の提供により、地域全体で家庭教育を支援するための体制づくりを図った。				
評価指標	保育園・学校と家庭教育支援チームの協働による講座を開催する。				
成果と課題	父親の育児参加促進と親子での交流機会の提供を目的とした絵本ライブや研修会を実施した。今後、保育園や小中学校・地域単位における課題に対応するため、各園・学校単位での家庭教育講座の開催やニーズ把握に努める必要がある。				
今後の方向性	家庭教育講座については、「家庭教育支援チーム推進事業」として、保育園・学校と家庭教育支援チームの協働により講座を行う。				
学識経験者の意見	要望を把握し、より参加し易くなるよう工夫しながら実施に努められたい。				

【評価基準】

有効性……………1＝期待以下(90%以下)    2＝期待どおり(90%超)    3＝期待以上(100%超)  
 費用対効果……1＝課題あり(90%以下)    2＝予定どおり(90%超)    3＝予想以上(100%超)  
 必要性……………1＝低い    2＝高い    3＝不可欠  
 方向性……………1＝廃止・休止(終了)    2＝縮小    3＝統合    4＝継続    5＝拡大

36 伊勢堂岱遺跡世界遺産登録推進事業				主管課	生涯学習課
決 算 額	2,256 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	5 (5) 拡大
活 動 内 容	「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産に向けた登録推進事業の経費を負担することにより、遺跡の価値について情報発信を行った。 また、登録のための景観計画及び保存管理計画の成果品を作成した。				
評 価 指 標	世界遺産登録に向けた推進事業の経費を負担することにより、遺跡の価値について情報発信を行う。				
成 果 と 課 題	「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産に向けた登録推進事業の経費を負担することにより、事業の円滑な執行を図ることができた。文化庁の推薦を受けたが、国の推薦には至らなかったため、引き続き取り組む。				
今 後 の 方 向 性	世界遺産登録を目指す。(国内推薦の決定、国からユネスコへ推薦書提出、専門機関による現地調査、ユネスコでの審議、登録決定の流れとなり、最短で2021年の登録となる。)				
学 識 経 験 者 の 意 見	ジュニアボランティアガイドが非常に素晴らしい。珍しい取り組みなので、もっと内外に情報発信してはどうか。				

37 縄文まつり開催事業				主管課	生涯学習課
決 算 額	300 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	3 (3) 予想以上	3 (3) 不可欠	5 (4) 拡大
活 動 内 容	第18回縄文まつりを開催し、縄文文化及び伊勢堂岱遺跡の情報発信と各種の体験事業を行い参加者の交流を図った。 体験事業：①土器・土偶づくり ②勾玉づくり ③スタンプ体験 ④火おこし ⑤縄文写真 ⑥縄文クイズ ⑦縄文料理 ⑧カラムシ織り ⑨スイーツ販売 ⑩ミニコンサート など				
評 価 指 標	北秋田市の宝である伊勢堂岱遺跡の重要性を、子どもをはじめ市民に理解してもらい、ふるさとに愛着と誇りを感じてもらおうと共に、世界遺産登録に向け機運を高める。				
成 果 と 課 題	例年の縄文まつりに加え、午後から来場した縄文シティサミットの参加者を遺跡へ案内し、その後各種体験へも参加いただいたことにより、縄文文化及び伊勢堂岱遺跡を市内外の約300名に情報発信することができた。この後は伊勢堂岱遺跡に来たことがない市民にも、足を運んでもらうよう情報発信する。				
今 後 の 方 向 性	継続して実施し、より多くの方が訪れてくれるよう内容を充実させることで、世界遺産登録に向け機運を高める。				
学 識 経 験 者 の 意 見	世界遺産登録に向け機運を高めるためにも、常に内容を見直しながら継続実施を図られたい。				

【評価基準】

有効性……………1＝期待以下(90%以下)    2＝期待どおり(90%超)    3＝期待以上(100%超)  
費用対効果…1＝課題あり(90%以下)    2＝予定どおり(90%超)    3＝予想以上(100%超)  
必要性……………1＝低い    2＝高い    3＝不可欠  
方向性……………1＝廃止・休止(終了)    2＝縮小    3＝統合    4＝継続    5＝拡大

38 交流センター管理事業				主管課	生涯学習課
決 算 額	13,445 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活 動 内 容	市民の交流や活動の拠点施設として活用されるよう、管理委託・清掃委託及び各種保守点検委託による維持管理を実施した。				
評 価 指 標	市内外から利用され、地域活動の拠点として活用される施設維持を行う。				
成果と課題	適切な維持管理と補修を行うことで、市民の方々の交流の場と活動の拠点としての役割を担うことができた。今後も市内外の利用者が研修や会議を行う施設として使用できるよう適切な管理を行う。				
今後の方向性	継続して市内外から利用され、地域活動の拠点施設として活用されるようにする。				
学識経験者の意見	北秋田市民ふれあいプラザコムコムとの住み分けがよくできている。今後も地域活動の拠点として利用されるよう、維持管理に努められたい。				

39 交流センター改修事業				主管課	生涯学習課
決 算 額	8,502 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	2 (4) 縮小
活 動 内 容	市民の交流や活動の拠点施設として使用できるよう、空調設備の改修を行った。				
評 価 指 標	市民の交流や活動の拠点施設として活用されるよう、施設の設備改修を行う。				
成果と課題	講堂と第1研修室の冷房の改修を行ったことにより、利用者が快適に使用できる環境が整った。				
今後の方向性	長期的な視点で今後必要となる改修について、計画を立て改修を行う。				
学識経験者の意見	今後も利用者が快適に使用できるよう、施設整備に努められたい。				

【評価基準】

有効性……………1＝期待以下(90%以下)    2＝期待どおり(90%超)    3＝期待以上(100%超)  
 費用対効果…1＝課題あり(90%以下)    2＝予定どおり(90%超)    3＝予想以上(100%超)  
 必要性……………1＝低い    2＝高い    3＝不可欠  
 方向性……………1＝廃止・休止(終了)    2＝縮小    3＝統合    4＝継続    5＝拡大

40 図書館事業				主管課	生涯学習課
決 算 額	15,013 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	5 (5) 拡大
活 動 内 容	市民の学習施設として学習の場の提供のため、施設の維持管理と図書の充実を図った。また、図書館だよりを充実し情報発信と図書資料について図書館協議会や利用者から意見をもらい充実に努めた。				
評 価 指 標	図書の充実と利用者の利便性やサービスの向上に努め、利用者を増やす。				
成 果 と 課 題	図書館・図書室等と県立図書館など相互協力を図り、本の取り寄せなどのサービスを行った。また、市民病院に「みんなの本棚」として図書コーナーを設置し、図書に親しむ機会を拡充した。 2019年度～2023年度までの第2期北秋田市子ども読書活動推進計画の策定をしたことから、関係機関と連携を図りながら子どもの読書推進に努め、さらに利用者増を図る。				
今後の方向性	図書館コンピュータシステムの更新を行い、図書館業務の効率化と利用者の利便性を図るため、開館日を増やすなど運営の改善を検討する。				
学識経験者の意見	図書館体験デーの実施により、就学時に貸出カードを作成するのは読書に親しむ契機となり、非常によい取り組みであると評価される。				

41 文化会館管理事業				主管課	生涯学習課
決 算 額	35,431 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活 動 内 容	市民が芸術文化の活動に参加できるよう施設の維持管理を行った。				
評 価 指 標	市民が芸術・文化活動に使用できるよう施設の維持管理を行う。				
成 果 と 課 題	適切な維持管理や保守点検等を行うことにより、市民の方々が安心して利用できる施設や設備を維持できた。また、市の文化祭の開催や市内外の芸術活動の発表の場として活用され、芸術文化の振興が図られた。今後も市民に喜ばれるよう多様な事業の実施が必要。				
今後の方向性	市内にある唯一の文化施設として、活用の充実と長期的に使用できるよう維持管理を行う。				
学識経験者の意見	芸術・文化活動の拠点として維持管理を図られたい。				

【評価基準】

有効性……………1＝期待以下(90%以下)    2＝期待どおり(90%超)    3＝期待以上(100%超)  
費用対効果…1＝課題あり(90%以下)    2＝予定どおり(90%超)    3＝予想以上(100%超)  
必要性……………1＝低い    2＝高い    3＝不可欠  
方向性……………1＝廃止・休止(終了)    2＝縮小    3＝統合    4＝継続    5＝拡大

42 文化会館改修事業				主管課	生涯学習課
決算額	5,562 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		3 (3) 期待以上	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	舞台の諸幕改修工事と電話設備更新工事を行った。				
評価指標	市民が安心して芸術・文化活動できるよう施設の改修を行う。				
成果と課題	開館当初から使用してきた舞台の劣化した諸幕の改修工事を行ったことにより、舞台演出の見映えが向上した。また、電話設備更新工事を行ったことにより、スムーズな連絡が可能となった。				
今後の方向性	今後は、障がい者用トイレをみんなのトイレへ、ホワイエのトイレを全て洋式に改修し、より快適な施設としていく。				
学識経験者の意見	今後も利用者が快適に使用できるよう、施設整備に努められたい。				

43 みちのく子供風土記館管理・改修事業				主管課	生涯学習課
決算額	3,136 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (3) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	直木賞作家であった渡辺喜恵子氏を顕彰する建物であり、市民の交流活動の拠点として利用されるよう施設の維持管理を実施し、利用の向上に努めた。				
評価指標	市民が学習や交流の場として使用できるよう施設の維持管理を行う。				
成果と課題	屋根の塗装工事と適切な維持管理を行ったことで、市民が安心して利用できる施設としての環境が整った。早くから予約を入れる特定の団体だけでなく、施設周辺の町内会や子ども会等が使用したい時に使用できるよう工夫が必要である。				
今後の方向性	適切な維持管理を行い、建設された目的と想いに沿った使い方とより多くの市民の学習や交流の場となるよう、運営のあり方を検討していく。				
学識経験者の意見	顕彰施設としての活用があまり見えず、利用・認知度が下がっているように見受けられる。児童生徒の作文展示や日本ペンクラブとの交流等、利活用の検討を図られたい。				

【評価基準】

有効性……………1＝期待以下(90%以下)      2＝期待どおり(90%超)      3＝期待以上(100%超)  
費用対効果…1＝課題あり(90%以下)      2＝予定どおり(90%超)      3＝予想以上(100%超)  
必要性……………1＝低い      2＝高い      3＝不可欠  
方向性……………1＝廃止・休止(終了)      2＝縮小      3＝統合      4＝継続      5＝拡大

44 浜辺の歌音楽館運営事業				主管課	生涯学習課
決 算 額	6,422 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (1) 期待どおり	3 (1) 予想以上	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活 動 内 容	成田為三の業績や作品を音楽博物館として顕彰し、後世に引き継いでいくため施設の維持管理を実施した。墓前演奏会・少年少女合唱団コンサートを実施し、成田為三の音楽に触れる機会の充実に努めた。				
評 価 指 標	成田為三の作品を後世に引き継いでいく音楽博物館として施設の維持管理を行う。				
成 果 と 課 題	浜辺の歌音楽館の開館30周年事業として、記念式典や4回の定期演奏会、少年少女合唱団コンサートを実施した。例年より充実した内容となったため多くの方が来館し、成田為三の音楽に触れる機会となった。また、より多くの方に訪れて頂くため試験的に7月から入館料を無料にしたことにより、入館者が増加した。今後も条例を改正したことにより入館料が無料となる。今後はより多くの人に訪れてもらうための工夫をする必要がある。				
今 後 の 方 向 性	開かれた音楽館とするため、市民が定期的に利用できるような運営に努めるほか、物販等を行う。また、博物館として展示等の工夫に努める。				
学 識 経 験 者 の 意 見	顕彰施設としての活用がよく見え、非常によく取り組んでいると評価される。				

45 浜辺の歌音楽祭開催事業				主管課	生涯学習課
決 算 額	302 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活 動 内 容	成田為三の功績を称え作品を後世に引き継いでいくため、児童生徒及び一般の合唱団を対象に第13回浜辺の歌音楽祭を開催した。 参加団体：18団体				
評 価 指 標	成田為三の作品を後世に引き継ぐため、子どもから一般の合唱団を対象に音楽祭を開催する。				
成 果 と 課 題	記念演奏の「浜辺の歌変奏曲」のピアノ演奏により成田為三を身近に感じてもらうことができた。また、発表の場を設けることで相互の音楽活動の資質の向上と為三作品の継承と周知ができた。慣例になっている出演者席の確保に工夫をし、昨年より多くの一般の観客席を確保することができた。引き続き一般の観客席の確保に努める。				
今 後 の 方 向 性	出演団体数の維持に努めながら一般の観客を増やし、成田為三の作品を後世に引き継いでいくため、内容を再検討しながら継続していく。				
学 識 経 験 者 の 意 見	継続実施していくことに意義のある事業であることから、継続実施を図らるたい。				

【評価基準】

有効性……………1＝期待以下(90%以下)    2＝期待どおり(90%超)    3＝期待以上(100%超)  
費用対効果…1＝課題あり(90%以下)    2＝予定どおり(90%超)    3＝予想以上(100%超)  
必要性……………1＝低い    2＝高い    3＝不可欠  
方向性……………1＝廃止・休止(終了)    2＝縮小    3＝統合    4＝継続    5＝拡大

46 文化祭開催事業				主管課	生涯学習課
決算額	1,735 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		3 (2) 期待以上	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	市の補助を受け文化祭実行委員会により開催した。演示部門は48団体が出演し、展示部門には1,134点の出品があった。				
評価指標	市民へ芸術文化活動の発表及び鑑賞の機会を提供する。				
成果と課題	市民に芸術文化の発表と文化交流の場を提供することで、市内における文化の活性化と振興が図られた。展示会場を市民ふれあいプラザに変更して実施し、展示者や来館者から高評を得た。今後は見るだけでなく、芸術文化を体験できる機会の提供が必要と考える。				
今後の方向性	市民へ芸術文化活動の発表及び鑑賞機会の提供のほか、芸術文化を体験できる機会の提供を行う。				
学識経験者の意見	更なる創意工夫により、文化の振興を図りたい。				

47 伊勢堂岱遺跡縄文館管理事業				主管課	生涯学習課
決算額	12,091 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	伊勢堂岱遺跡の理解を深めるとともに、その魅力と情報を発信する施設の維持管理を行った。				
評価指標	伊勢堂岱遺跡の理解を深めるための情報発信施設の役割を果たし、来館者を増やす。				
成果と課題	適切な維持管理を行ったことで、伊勢堂岱遺跡の情報発信施設として来館者の利便性が確保された。また、遺跡内においても来館者が安心して見学できるよう草刈による環境維持と電気柵などの管理を行ったことにより安心安全が図られた。 世界遺産登録に向けた気運を盛り上げることと、より多くの方に訪れて頂くため試験的に7月から入館料を無料にしたことにより入館者が増加し、情報の拡散が図られた。今後も条例を改正したことにより入館料が無料となる。 ボランティアガイドの需要が高まってくることを踏まえ、一般ガイドの人数を増やすことが必要である。				
今後の方向性	来館者が安心して見学できる環境を維持しながら、伊勢堂岱遺跡の理解を深めるための情報発信施設の役割を果たす。				
学識経験者の意見	来館者は順調に推移していると見受けられる。伊勢堂岱遺跡の情報発信施設として引き続き取り組まれない。				

【評価基準】

有効性……………1＝期待以下(90%以下)    2＝期待どおり(90%超)    3＝期待以上(100%超)  
費用対効果…1＝課題あり(90%以下)    2＝予定どおり(90%超)    3＝予想以上(100%超)  
必要性……………1＝低い    2＝高い    3＝不可欠  
方向性……………1＝廃止・休止(終了)    2＝縮小    3＝統合    4＝継続    5＝拡大

48 胡桃館遺跡埋蔵資料等管理事業				主管課	生涯学習課
決算額	175 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	5 (5) 拡大
活動内容	国指定文化財である胡桃館遺跡出土遺材の保存管理を行った。				
評価指標	出土遺材の保存管理を行い、現状を維持する。				
成果と課題	出土遺材のレプリカが国立歴史民族博物館に常設展示されたほか、後世に引き継ぐため、保存管理を行うことで出土品の風化・劣化を防ぐことができた。まだ遺跡の範囲が確定していないため、確定作業を求められている。				
今後の方向性	出土遺材の保存管理を適切に行っているが、範囲の確定については伊勢堂岱遺跡の世界遺産登録後に検討する。				
学識経験者の意見	胡桃館遺跡の存在を知らない人がいる。秋田県の調査から20年経ったこともあり、今後は貞観時代の十和田噴火に向うなど、次の一手を検討してはどうか。				

49 文化財保護事業（含、長岐邸整備事業）				主管課	生涯学習課
決算額	25,920 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	文化財保護審議会の開催や文化財保護のための工事及び維持管理を行った。				
評価指標	市内の文化財の維持管理、文化財の保護などを行う。				
成果と課題	長岐邸の屋根改修工事とトイレ設置工事により、来訪者の利便性と建物の保存が確保できた。また、老木となって倒伏の危険があった松栄の桜並木の伐採を行い、住民の不安解消に繋がった。 文化財保護審議会の開催により文化財の保護の方針が再確認された。また、課題であった国指定文化財のマタギ狩猟用具すべての現状確認ができた。 今後も指定文化財の現状確認、古文書の集約と適切な保存が必要とされている。				
今後の方向性	引き続き文化財の維持管理、文化財の保護、指定文化財の現状確認、古文書の集約と適切な保存管理を行う。				
学識経験者の意見	古文書の適切な保存管理は困難と思われることから、秋田県公文書館への一時預かり等検討してはどうか。				

【評価基準】

有効性……………1＝期待以下(90%以下)    2＝期待どおり(90%超)    3＝期待以上(100%超)  
費用対効果…1＝課題あり(90%以下)    2＝予定どおり(90%超)    3＝予想以上(100%超)  
必要性……………1＝低い    2＝高い    3＝不可欠  
方向性……………1＝廃止・休止(終了)    2＝縮小    3＝統合    4＝継続    5＝拡大

50 民俗芸能大会事業				主管課	生涯学習課
決 算 額	443 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (3) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活 動 内 容	北秋田市民俗芸能大会の開催により、北秋田市に伝承されている民俗芸能等を広く市民に公開するとともに、民俗芸能伝承活動とあわせて技量の向上を支援した。 出演団体：①綴子大太鼓上町保存会②今泉駒踊り郷土芸能保存会 ③飯田川鷺舞保存会（潟上市）④根子番楽保存会				
評 価 指 標	民俗芸能団体へ発表の場を提供し、民俗芸能の保存と伝承を行う。				
成 果 と 課 題	発表の場の提供により伝承者の意欲と技量の向上につながった。また、他市町村の民俗芸能団体の出演により、出演者同士の交流が図られたほか、市民に鑑賞してもらうことで、民俗芸能の良さや伝承の大切さを周知できた。今後は出演団体の確保のため、休止中などの団体が活動できる支援が必要となってくる。				
今後の方向性	出演団体を変更しながら、継続して開催する。				
学識経験者の意見	伝統芸能の継承のため、子どもたちもよく頑張っていると見受けられる。今後も様々な手法を検討し、伝承につなげていただきたい。				

【評価基準】

有効性……………1＝期待以下(90%以下)    2＝期待どおり(90%超)    3＝期待以上(100%超)  
費用対効果…1＝課題あり(90%以下)    2＝予定どおり(90%超)    3＝予想以上(100%超)  
必要性……………1＝低い    2＝高い    3＝不可欠  
方向性……………1＝廃止・休止(終了)    2＝縮小    3＝統合    4＝継続    5＝拡大

51 北秋田市民プール管理運営事業				主管課	スポーツ振興課																
決算額	18,900 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)																
		2 (2) 期待どおり	3 (3) 予想以上	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続																
活動内容	指定管理制度による公の施設の管理運営事業。 平成27年度から平成31年度までの5年間の指定管理者を選定した。																				
評価指標	幅広い年代の健康増進及び交流施設としての維持に努める。																				
成果と課題	<p>施設利用人数は平成27年度52,205名、平成28年度54,215名、平成29年度55,887名、平成30年度は56,098名となっている。利用者は年々増加傾向を維持し、平成30年度は工事のため1か月間プールが使用できなかったにもかかわらず増加していることから、指定管理者による運営成果が現れているといえる。</p> <p>しかし、トレーニング機器や設備に故障・破損等がみられるので、維持更新等について計画を定め、指定管理者と連携して運営に努めたい。</p>																				
	<table border="1"> <caption>北秋田市民プール利用者数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>45,266</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>48,309</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>45,704</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>52,205</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>54,215</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>55,887</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>56,098</td> </tr> </tbody> </table>					年度	利用者数	H24	45,266	H25	48,309	H26	45,704	H27	52,205	H28	54,215	H29	55,887	H30	56,098
年度	利用者数																				
H24	45,266																				
H25	48,309																				
H26	45,704																				
H27	52,205																				
H28	54,215																				
H29	55,887																				
H30	56,098																				
今後の方向性	建物及び設備の長寿命化を図るため計画的な維持管理に努める。																				
学識経験者の意見	介護予防の実践等高齢者には非常にありがたい施設である。指定管理者より稼働率の提供を受け、データの見せ方の工夫をすることで、これだけ成果があるともっと強調してもよいと思われる。																				

【評価基準】

有効性……………1＝期待以下(90%以下)	2＝期待どおり(90%超)	3＝期待以上(100%超)
費用対効果…1＝課題あり(90%以下)	2＝予定どおり(90%超)	3＝予想以上(100%超)
必要性……………1＝低い	2＝高い	3＝不可欠
方向性……………1＝廃止・休止(終了)	2＝縮小	3＝統合
		4＝継続
		5＝拡大

52 薬師山スキー場管理運営事業				主管課	スポーツ振興課																
決 算 額	3,830 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)																
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続																
活 動 内 容	指定管理制度による公の施設の管理運営事業。 平成27年度から平成31年度までの5年間を引き続き自治会を指定管理者とし管理運営を行っている。																				
評 価 指 標	季節及び地域特有のスポーツ施設として継続するための経営維持に期待する。																				
成 果 と 課 題	<p>12月の雪不足の影響で、利用者数は前年度を下回る8,285人となったが、減少幅は僅かであり、指定管理者である地元自治会の努力が結果として現れていると云ってよい。</p> <p>指定管理制度で地域自治会が運営することで、様々なサービスを提供することが可能となり、地域の活性化や地域コミュニティの醸成が図られている。</p> <p>昨年度も課題としていた、ナイター設備等の経年劣化への対応が手付かずのまま残ってしまったが、利用者が広域にわたっている施設であるので、できるだけ早急に対策を施したいと考える。</p>																				
	<table border="1"> <caption>薬師山スキー場利用者数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>9,112</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>7,711</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>14,526</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>5,903</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>4,899</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>8,953</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>8,285</td> </tr> </tbody> </table>					年度	利用者数 (人)	H24	9,112	H25	7,711	H26	14,526	H27	5,903	H28	4,899	H29	8,953	H30	8,285
年度	利用者数 (人)																				
H24	9,112																				
H25	7,711																				
H26	14,526																				
H27	5,903																				
H28	4,899																				
H29	8,953																				
H30	8,285																				
今後の方向性	指定管理事業者と連携し、施設維持に努める。																				
学識経験者の意見	すごく整備され、よくなっていると感じた。初心者や子どもには最高の場所で、指定管理者である自治会も非常によく頑張っていると評価される。																				

【評価基準】

有効性……………1＝期待以下(90%以下)	2＝期待どおり(90%超)	3＝期待以上(100%超)
費用対効果…1＝課題あり(90%以下)	2＝予定どおり(90%超)	3＝予想以上(100%超)
必要性……………1＝低い	2＝高い	3＝不可欠
方向性……………1＝廃止・休止(終了)	2＝縮小	3＝統合
		4＝継続
		5＝拡大

53 100キロチャレンジマラソン大会補助事業				主管課	スポーツ振興課																
決算額	3,000 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)																
		2 (2) 期待どおり	2 (3) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続																
活動内容	大会運営のため補助金を交付し、円滑な大会運営と参加者の交流及び地域の活性化を図った。																				
評価指標	100キロの部1,350名、50キロの部350名 (定員1,700名)																				
成果と課題	<p>県内外から100キロの部に1,086名、50キロの部に361名、合計1,447名のランナーが参加し、秋田県を始め、仙北市、北秋田市、上小阿仁村、自衛隊、消防、企業、ボランティア (約1,900名) の協力により実施され成功裡に終了した。地域のイベントとして根付いており、経済効果とともに参加ランナーと地域住民の交流により地域の活性化が図られている。</p> <p>一方で、参加者が減少傾向にあること、ボランティアの高齢化やスタッフの固定化で後継者が育っていないことから、今後の円滑な大会運営のための支援について対策を協議する必要がある。</p>																				
	<table border="1"> <caption>100キロチャレンジマラソン参加者数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加者数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>1,708</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>1,726</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>1,603</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>1,702</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1,469</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1,447</td> </tr> </tbody> </table>					年度	参加者数 (人)	H24	1,708	H25	1,726	H26	1,603	H27	1,702	H28	1,500	H29	1,469	H30	1,447
年度	参加者数 (人)																				
H24	1,708																				
H25	1,726																				
H26	1,603																				
H27	1,702																				
H28	1,500																				
H29	1,469																				
H30	1,447																				
今後の方向性	大会の継続に向け、実行委員会・秋田県・仙北市と連携し継続開催に努める。																				
学識経験者の意見	参加者数を評価指標にするのではなく、違う指標で特長を出して行くべきと考える。スタッフについては、エイドに高校生を配置している大会もあることから、色々と参考にしてはどうか。また、参加者の利便性向上のため、RUNNETの活用も検討してはどうか。																				

【評価基準】

有効性……………1＝期待以下(90%以下)	2＝期待どおり(90%超)	3＝期待以上(100%超)
費用対効果…1＝課題あり(90%以下)	2＝予定どおり(90%超)	3＝予想以上(100%超)
必要性……………1＝低い	2＝高い	3＝不可欠
方向性……………1＝廃止・休止(終了)	2＝縮小	3＝統合
		4＝継続
		5＝拡大

54 北秋田市スキー大会等補助事業				主管課	スポーツ振興課
決 算 額	1,785 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活 動 内 容	北秋田市スキー大会実行委員会が実施するスキー大会及び県民歩くスキーのつどい開催のため補助金を交付し、事業の円滑な運営と雪国の特性を活かしたスポーツ活動の推進を図った。				
評 価 指 標	季節・地域特有の自然環境におけるスポーツに取り組むことで、地域への親しみと体力・精神力を育み将来的に競技者への足がかりとしてもらう。				
成 果 と 課 題	<p>第12回北秋田市民スキー大会 (77名)  第71回大館北秋田中学校スキー大会 (24名)  第64回北秋田学童スキー大会 (46名)  第54回大館・北秋田スキー米内沢大会 (中止)  第39回県民歩くスキーのつどい (248名)</p> <p>児童数の減少に伴い参加人数も減少傾向にあるが、地域の自然条件におけるスポーツ環境が提供されていることにより、スキー競技へ取組む足がかりとしての目標となっている。また冬期間の運動不足解消へ向けたスポーツ推進及び青少年の健全育成が図られている。  大館・北秋田スキー米内沢大会は2年連続の中止となった。</p>				
今後の方向性	開催方法等について検討しながら継続開催に努める。				
学識経験者の意見	この地域特有のスポーツとして親しんでもらうためにも、継続実施を図られたい。				

55 北秋田市スポーツ大会出場費補助事業				主管課	スポーツ振興課
決 算 額	1,296 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		3 (3) 期待以上	2 (2) 予定どおり	2 (2) 高い	4 (4) 継続
活 動 内 容	全県大会以上の大会派遣費を補助する事により、スポーツ活動への参加を助長し、子どもたちの心身の健全な育成及びスポーツ活動の底辺拡大と振興を図った。				
評 価 指 標	大会出場経費に関する不安要素を軽減することで、スポーツ活動に取り組みやすい環境づくりを行う。				
成 果 と 課 題	<p>全県大会、東北大会、全国大会出場の34団体に対して参加費・交通費・宿泊費の一部を補助した。前年度から9団体少なくなったものの、東北・全国大会出場団体は前年度より10団体増加しており、事業の効果が現れている。</p> <p>上位大会出場という目標を持って、スポーツ活動に取り組んでおり、目標達成のためには本事業は有効である。</p> <p>ジュニアスポーツ団体の活動が多様化してきており、スポーツ少年団に限定せず学校での部活動以外全てのスポーツ団体を対象とすることとした。</p>				
今後の方向性	保護者の負担軽減を図ることから継続とする。				
学識経験者の意見	子どもたちがスポーツで頑張る姿は地域を元気にし、その活躍は地域活性化にもつながることから、頑張りが続くよう継続実施に取り組まれない。				

【評価基準】

有効性……………1＝期待以下(90%以下)    2＝期待どおり(90%超)    3＝期待以上(100%超)  
費用対効果…1＝課題あり(90%以下)    2＝予定どおり(90%超)    3＝予想以上(100%超)  
必要性……………1＝低い    2＝高い    3＝不可欠  
方向性……………1＝廃止・休止(終了)    2＝縮小    3＝統合    4＝継続    5＝拡大

56 北秋田市スポーツ大会開催補助事業				主管課	スポーツ振興課
決 算 額	438 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	2 (2) 高い	4 (4) 継続
活 動 内 容	北秋田市内で開催されている一定規模の大会へ経費の一部を補助する。				
評 価 指 標	競技大会を開催することにより、競技力の向上を図る。				
成果と課題	全県大会など一定規模の大会が継続的に開催されることにより、活動目標を定められ地域における競技力の強化が図られる。 県内各地において各種競技大会が増えている傾向にあるため、団体に対し新規大会の開催を促すことは困難である。				
今後の方向性	競技協会に対し、現在開催されている大会の継続を働きかける。				
学識経験者の意見	金額は少ないが、費用対効果は大きく、継続実施を図られたい。				

57 北秋田市スポーツ文化等合宿誘致促進事業				主管課	スポーツ振興課
決 算 額	300 千円	有効性 (H29)	費用対効果 (H29)	必要性 (H29)	方向性 (H29)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	2 (2) 高い	4 (4) 継続
活 動 内 容	市外に存するスポーツ・文化活動団体に対し、北秋田市内において合宿することを誘致促進を図る。				
評 価 指 標	市外からの団体を受け入れることにより、関係する地元団体との交流促進及び地域活性化を図る。				
成果と課題	前年度と同じ1団体の受入れであったが、県内各地の中学生・高校生との交流により貴重な指導を受けることができ、競技力向上のための有意義な機会とすることができた。				
今後の方向性	競技協会等にPRすることにより継続を図る。				
学識経験者の意見	首都圏からの教育実習生も対象とするなど、他自治体に先駆けて拡大を図られたい。				

【評価基準】

有効性……………1＝期待以下(90%以下)    2＝期待どおり(90%超)    3＝期待以上(100%超)  
費用対効果…1＝課題あり(90%以下)    2＝予定どおり(90%超)    3＝予想以上(100%超)  
必要性……………1＝低い    2＝高い    3＝不可欠  
方向性……………1＝廃止・休止(終了)    2＝縮小    3＝統合    4＝継続    5＝拡大

平成30年度

北秋田市教育委員会点検・評価報告書

発行	令和元年10月
発行責任者	北秋田市教育委員会総務課
所在地	北秋田市花園町15番1号 北秋田市役所第二庁舎
T E L	0186-62-6616
F A X	0186-63-2678